



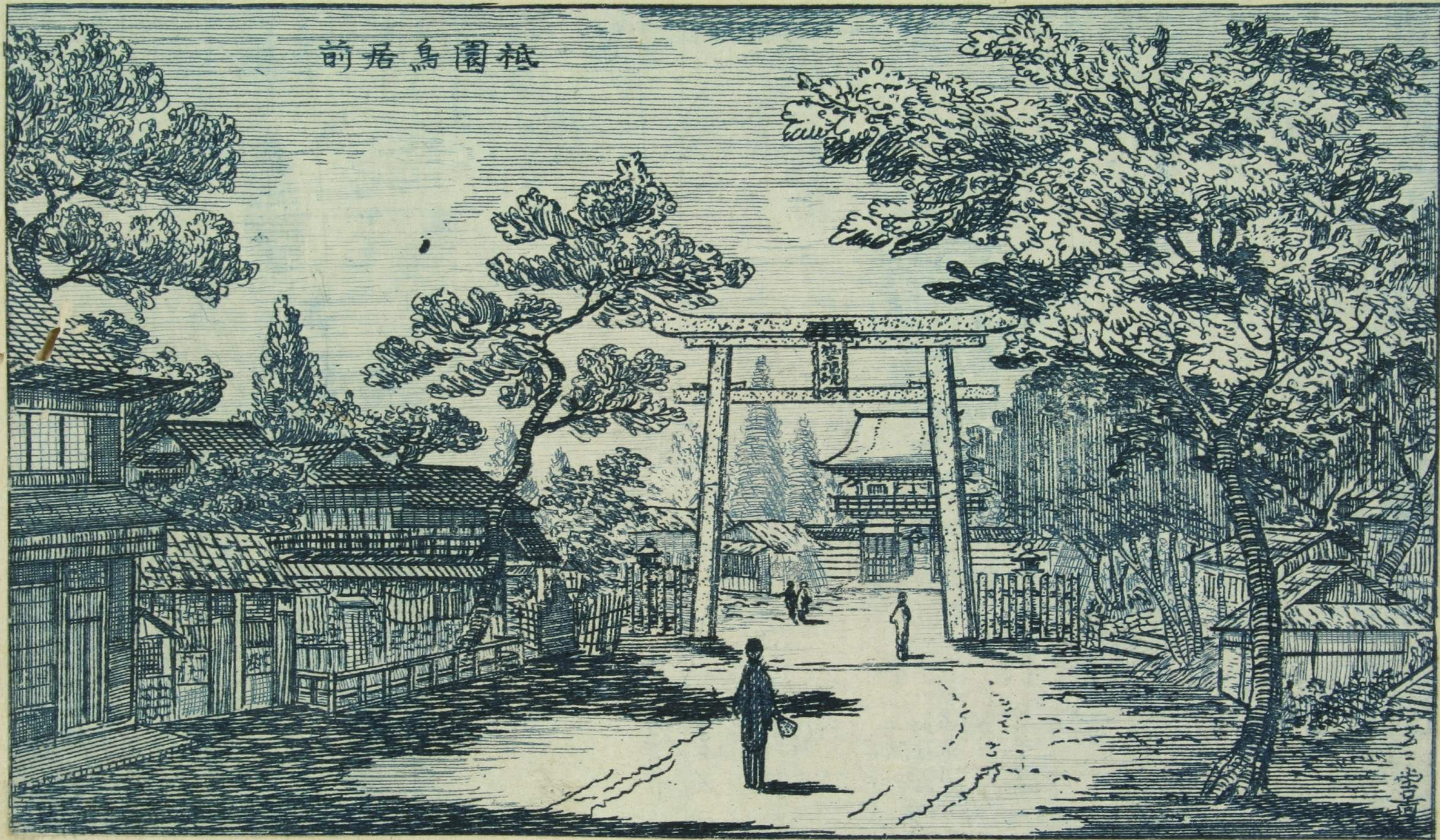








祇園鳥居前



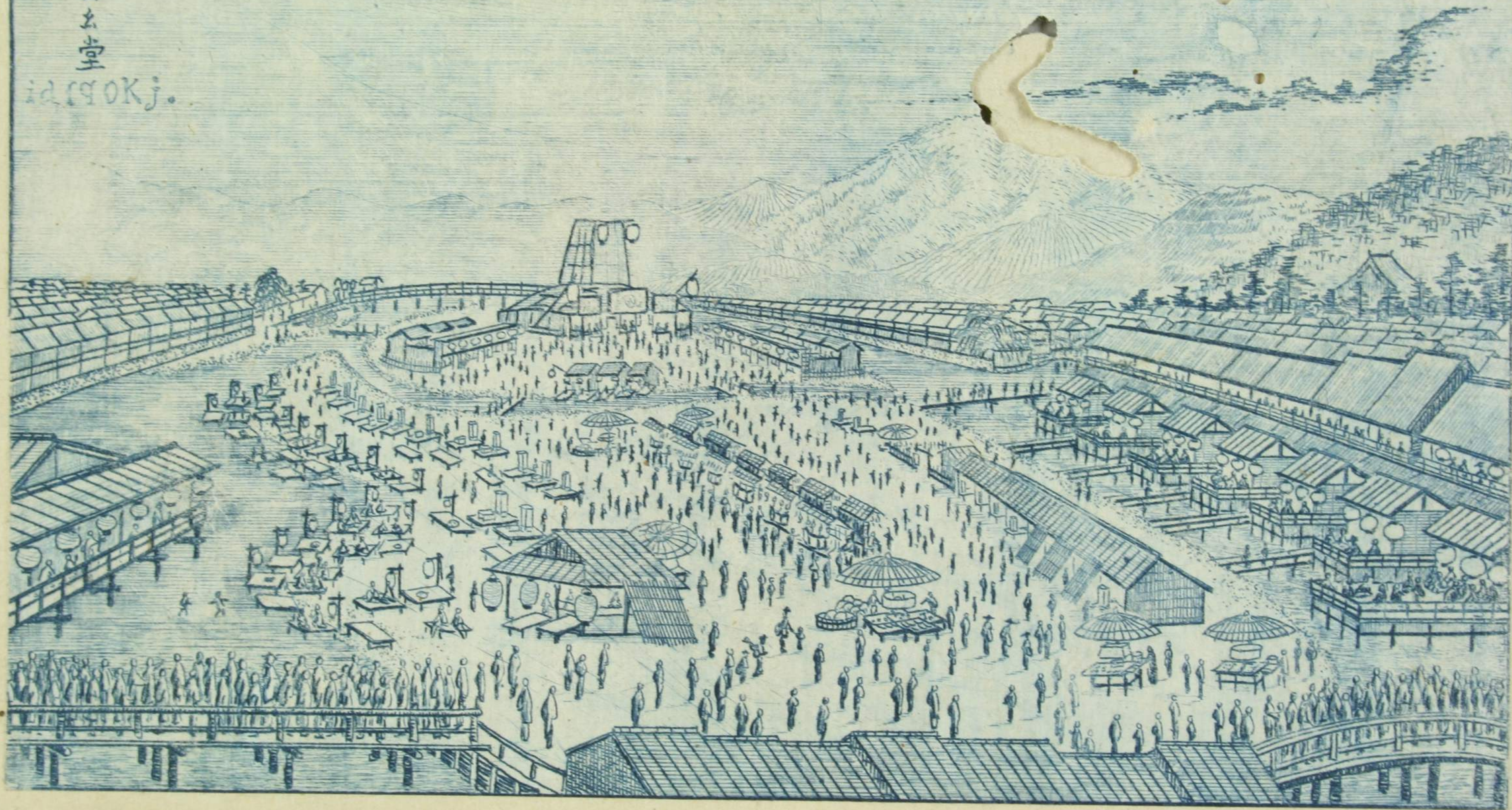
9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1



一四條川原之涼

玄土堂

id: 90Kj.





女 坊 歌 三 十 六



右国内侍



左中納



右三河守



左侍部



右式部



左小野



右近衛



左右大將



右侍



左中納



左後



左



右小侍



左和泉



右三條



左赤松



右



左



右近衛



左式部



右辨



左紫



右法



左



右三條



左大



右



左清



右



左



右



左



右



左



右



左





70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2



伊勢を捕  
 いしを  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに



伊勢を捕  
 いしを  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに



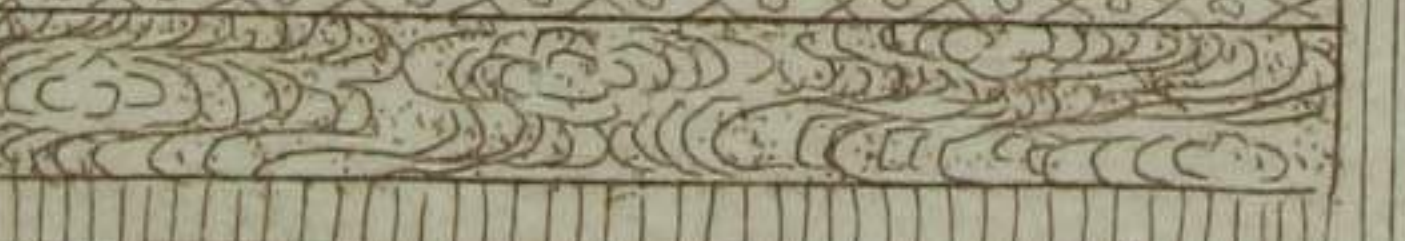
伊勢を捕  
 いしを  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに



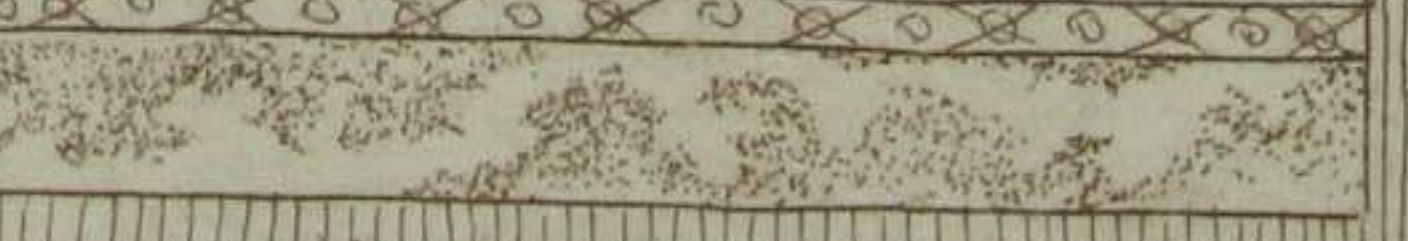
伊勢を捕  
 いしを  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに



伊勢を捕  
 いしを  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに

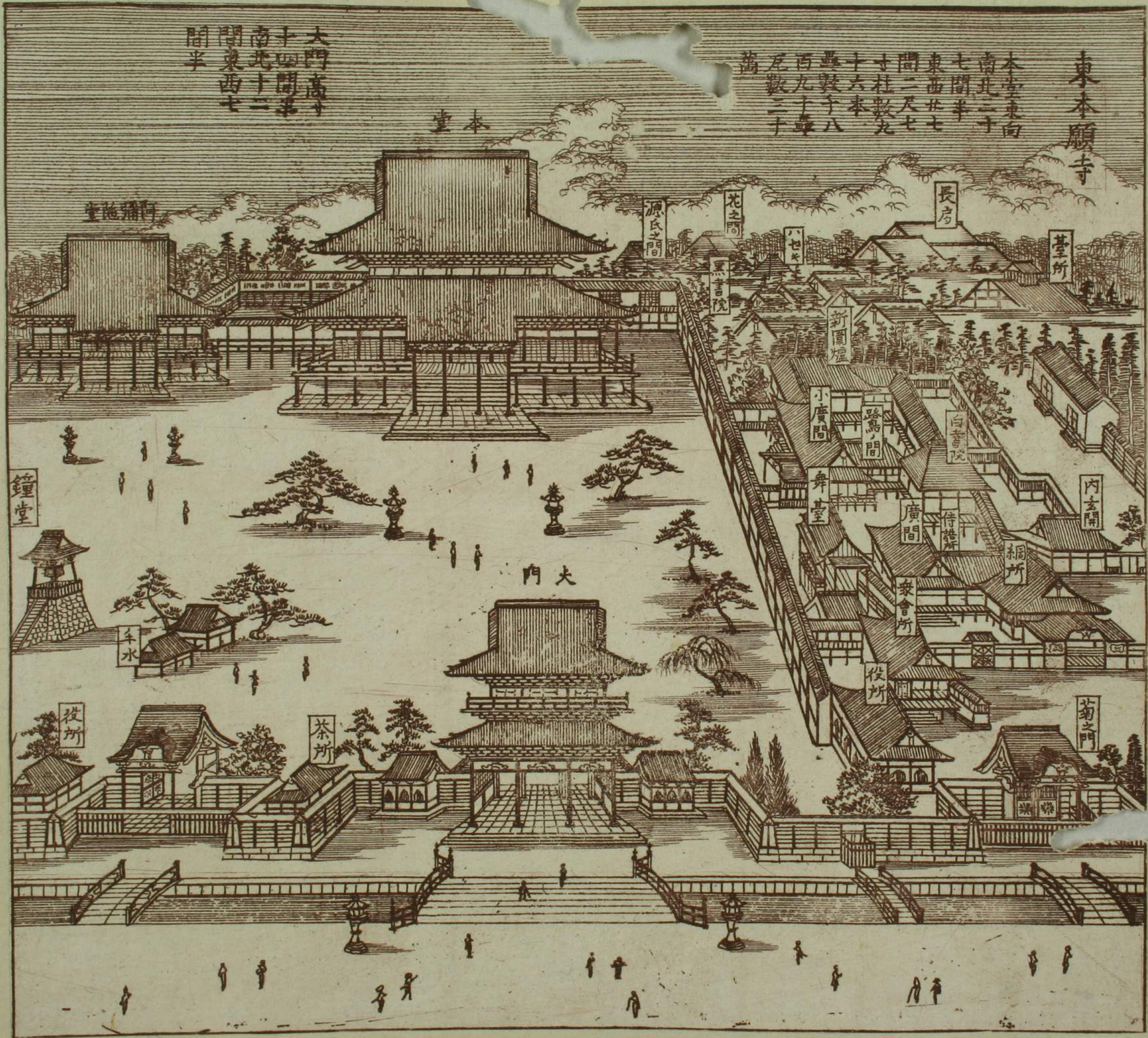


伊勢を捕  
 いしを  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに  
 さいらに



70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2





東本願寺

本堂東向  
南北二十  
七間半  
東西九  
間二尺七  
寸柱數九  
十六本  
舞臺千八  
百九  
尺數二十  
萬

大門高十  
十間半  
南北十二  
間東西七  
間半

堂本

長房

臺所

源氏之間

花之間

八七

新圖

小廣間

舞臺

白書院

内玄開

廣間

細所

侍講所

役所

北菊之門

大内

鐘堂

水

役所

茶所





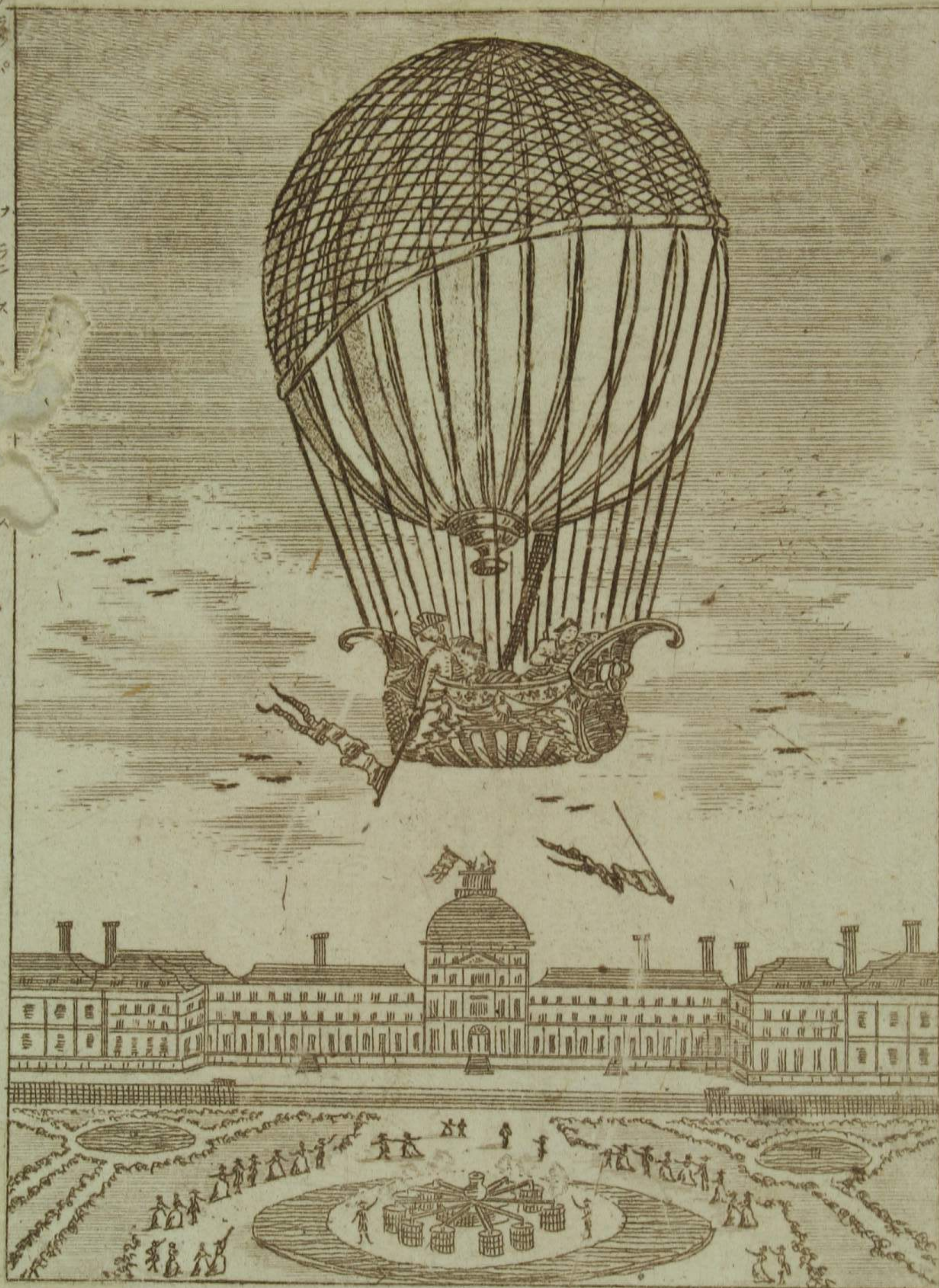
東殿庭池之圖





歐羅巴洲中拂郎察  
製作スル者ナリ則チ

斯ノ地ニテ「モンゴル」名ノエ夫ヲ以テ始テ  
版ノ圖ヲ  
縮寫スルモノナリ



飛 行 火 器 風 舟 此 器





沈んでおとす物を取らげり



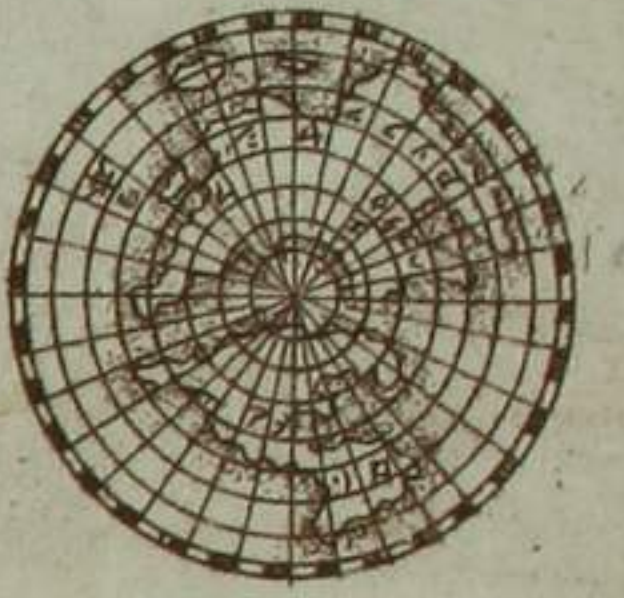


地球圖

主地者大虛中  
 一點之塊也其  
 形圓而如玉故  
 稱地球其  
 大測之可  
 以知矣周  
 圍外對天  
 猶鷄子黃  
 在白內也  
 水鏡包其  
 外然其面有  
 凸凹其凸而  
 出千水之處  
 大洲水者  
 其性潤下  
 故親著於  
 地以繞包  
 之然浮干  
 低者海也  
 出千高者  
 泉也其流為川  
 止而為湖時為  
 雲霧為雨露

心中極北

立直本日





寧治平等院



二  
三





東山八景

長樂寺晚鐘



清水寺歸帆



圓山夕照



靈山穗月



祇園夜雨



比叡山暮雲



五條橋晴嵐



白川路鴈



9

80

1

2

3

4

5

6

7

8

9

90

1

2

3

4





延龍寺春  
二五

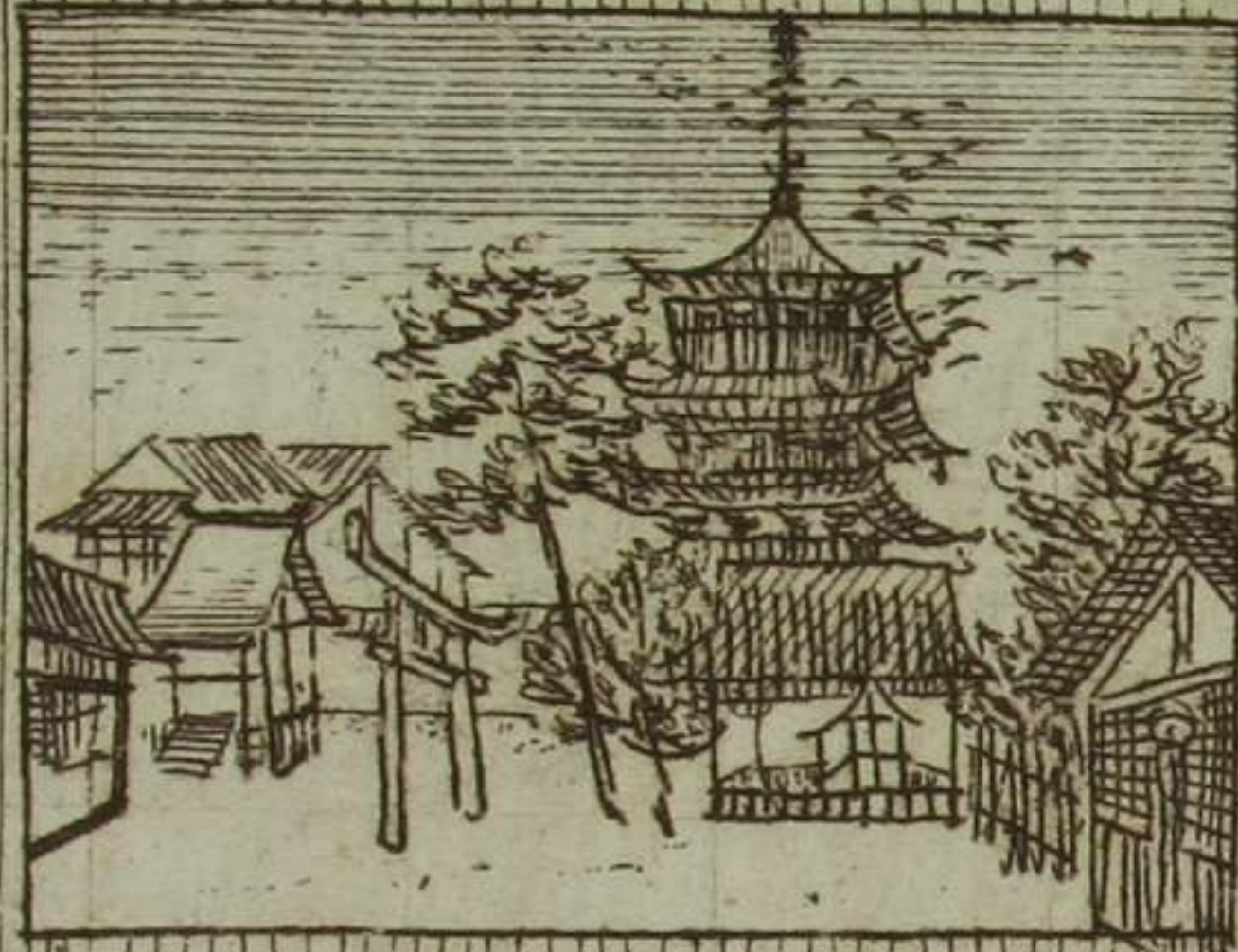
ス  
ラ  
ハ  
ニ  
丁





洛東二十勝景

八坂庚申堂



清水寺西門



長樂寺



華頂山前門



七條夕涼



箱荷大社



菴の森



永観堂



通天橋



祇園御輿流



指月山



祇園

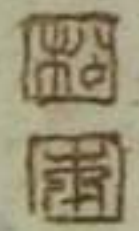




天地玄黃宇宙洪荒日月盈昃辰宿列張寒暑往來秋收冬藏閏餘成歲律呂調陽  
 雲騰致雨露結為霜金生麗水玉出崑崙劍號巨關珠稱夜光葉珍季柰菜重芥薑  
 海鹹河淡鱗潛羽翔龍師火帝鳥官人皇始制文字乃服衣裳推位讓國有虞陶唐  
 吊民伐罪周發殷湯坐朝問道垂拱平子音黎首臣伏戎是遐邇壹體率賓歸至  
 鳴鳳在樹白駒食場化被草木賴及萬方蓋此身髮四大五常恭惟鞠養豈敢毀傷  
 女慕貞烈男效才良知過必改得能莫忘罔談彼短靡恃己長信使可覆器欲難量  
 墨悲絲漆詩讚羔羊景行維賢克念作聖德建名立形端表正空谷傳聲虛堂習聽  
 禍因惡積福緣善慶尺璧非寶寸陰是競貧父事君日嚴與敬孝當竭力忠則盡命  
 臨深履薄風興溫清似蘭斯馨香如松之盛川流不息淵澄取映容止若思言辭安定  
 篤初誠美慎終宜令榮業所基藉甚無竟學優登仕攝職從政存以甘棠去而益詠  
 樂殊貴賤禮別尊卑上和下睦夫唱婦隨外受傳訓八奉母儀諸姑伯叔猶子比兒  
 孔懷兄弟同氣連枝交友投分切磨歲規仁慈隱惻造次弗離節義廉退顛沛匪虧  
 性靜情逸心動神疲守真志滿逐物意移堅持雅操好爵自靡都邑華夏東西二京  
 背印面洛浮渭據涇宮殿盤鬱樓觀飛鸞圖寫禽獸書畫絲仙靈丙舍倍啓甲帳對楹  
 肆筵設席鼓琴吹笙升階納陛升轉疑星右通廣內左達承明既集墳典亦聚羣英  
 杜臺鐘繇漆書壁經府羅符相路夾槐柳封八縣家給千兵高冠陪輦驅轂振纓  
 世祿侈富車駕肥輕策功茂實勒碑刻銘磻溪伊尹佐時阿衡奄宅曲阜微旦孰營  
 桓公匡合濟弱扶傾綺迴漢惠說感武丁俊又密勿多士宣室晉楚更霸趙魏因橫  
 假途滅虢踐土會盟何遵約法韓弊煩刑起翦顯牧用軍取精宣威沙漠馳譽丹青  
 尤州禹跡百郡秦并獄宗恒獄禪主云亭鷹明紫塞鷄田赤城昆池碣石鉅野洞庭  
 曠遠繇邇巖岫杳冥治本於農務茲稼穡倣戴南前我藝黍稷執熟貢新勸賞黜陟  
 孟軻敦素史魚秉直庶幾中庸勞謙謹勅聆音察理鑑貌察色貽厥嘉猷勉其祗植  
 省躬譏誼寵增抗極殆辱近耻林阜幸即兩疏見機解組誰逼素居閑處沉默寂寥  
 求古尋論散慮逍遙欣奏素遣感謝歡招渠荷的歷園萃抽條枇杷晚翠梧桐早凋  
 陣根委翳落葉飄颻游鳴獨運法塵絳霄耽讀說市富目囊箱易輻收惠屬耳恒牆  
 具膳餐飯適口充腸飽飲烹烹釀糟糲親戚故舊老少異糧妾御績紡侍巾帷房  
 執扇圓潔銀燭輝煌書眠夕寐藍荀象林弦歌酒譙接杯舉觴矯矯毛穎足悅豫且康  
 嫡後嗣續祭祀燕嘗稽顙再拜悚懼恐惶膝際簡要顧答審詳骸垢想浴執熱願涼  
 驪騮賣寺駭躍趨驤誅賊盜捕獲叛亡布射儉丸柁琴阮嘯惶筆倫鈞巧任鈞  
 釋紛利俗並皆佳妙毛施泚女五聲妍笑年失身催曉暉朗耀瓊璣懸軒曉魄環照  
 指薪脩祔永綏吉劬矩步引領俯仰廊廟束帶矜莊徘徊瞻眺孤陋寡聞愚蒙等詘  
 謂語助者焉哉乎也

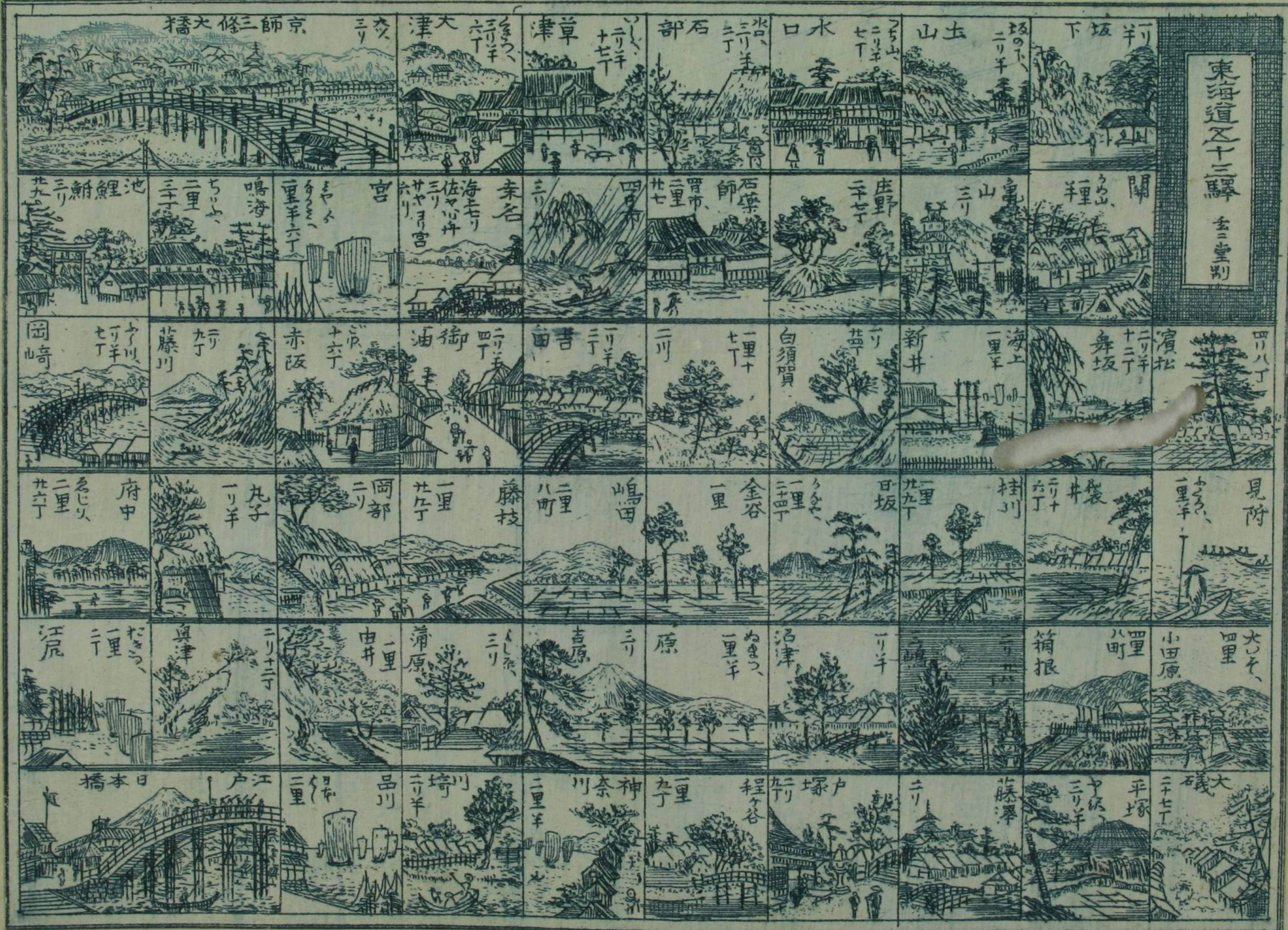
天保七年歲次丙申秋玄鳥歸日

帝都玄女堂儀承錫





東海道五十三驛 五三堂別





木曾路中仙道驛程

玄二堂製



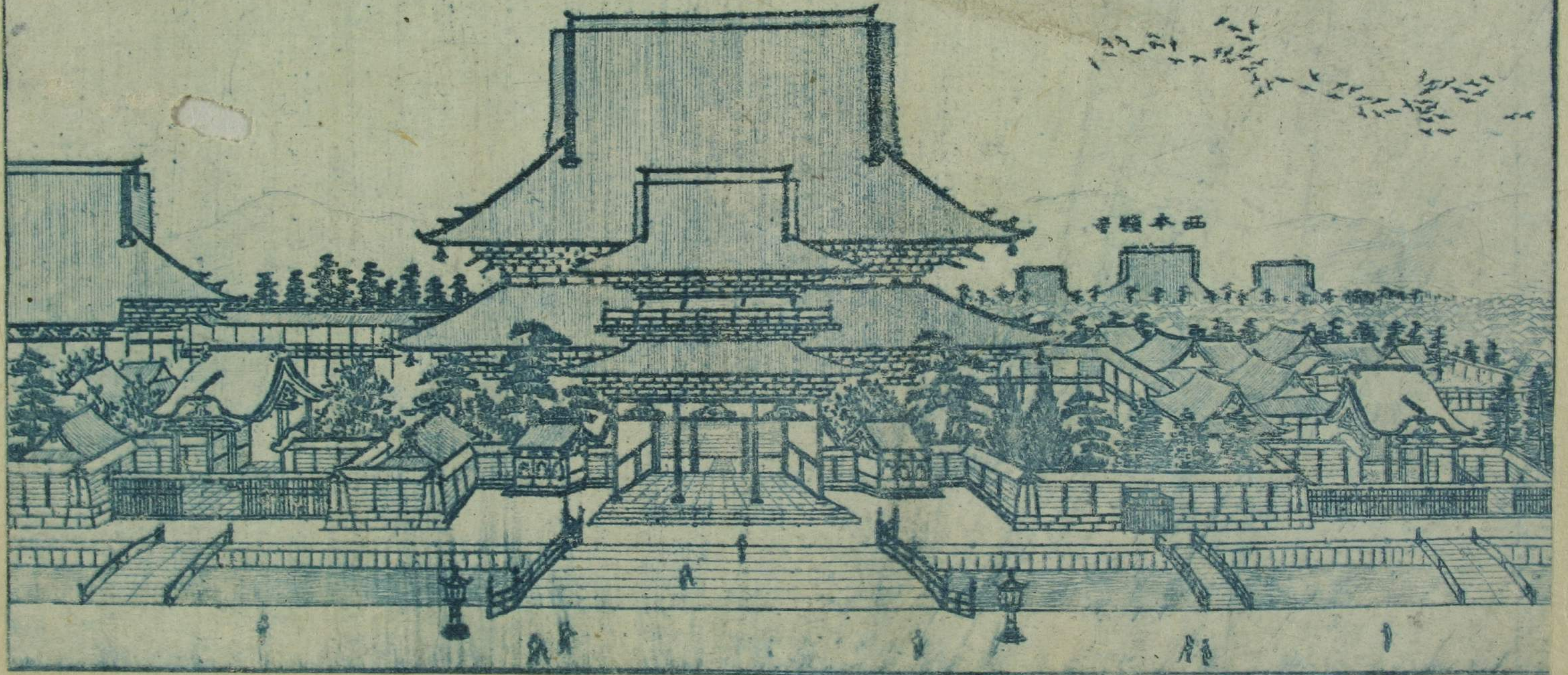
醒井 一里半 六十一文 三十一文	番場 一里 四十二文 二十一文	鳥井本 一里半 三十三文 二十一文	高宮 一里半 四十二文 二十一文	愛知川 一里半 四十二文 二十一文	武佐 一里半 四十二文 二十一文	守山 一里半 四十二文 二十一文	草津 一里半 四十二文 二十一文	大津 一里半 四十二文 二十一文	師 一里半 四十二文 二十一文	伏見 一里 四十二文 二十一文	御獄 一里 四十二文 二十一文	細久 一里 四十二文 二十一文	八幡 一里 四十二文 二十一文	塩灘 一里 四十二文 二十一文	江 一里 四十二文 二十一文
今須 一里 四十二文 二十一文	冥原 一里 四十二文 二十一文	野尻 一里 四十二文 二十一文	三野 一里 四十二文 二十一文	毒竹 一里 四十二文 二十一文	馬籠 一里 四十二文 二十一文	中津川 一里 四十二文 二十一文	大井 一里 四十二文 二十一文	大湫 一里 四十二文 二十一文	望月 一里 四十二文 二十一文	岩村 一里 四十二文 二十一文	小田 一里 四十二文 二十一文	板橋 一里 四十二文 二十一文	本庄 一里 四十二文 二十一文		
福山 一里 四十二文 二十一文	眞原 一里 四十二文 二十一文	野尻 一里 四十二文 二十一文	三野 一里 四十二文 二十一文	毒竹 一里 四十二文 二十一文	馬籠 一里 四十二文 二十一文	中津川 一里 四十二文 二十一文	大井 一里 四十二文 二十一文	大湫 一里 四十二文 二十一文	望月 一里 四十二文 二十一文	岩村 一里 四十二文 二十一文	小田 一里 四十二文 二十一文	板橋 一里 四十二文 二十一文	本庄 一里 四十二文 二十一文		
宮城 一里 四十二文 二十一文	新町 一里 四十二文 二十一文	倉野 一里 四十二文 二十一文	高崎 一里 四十二文 二十一文	板鼻 一里 四十二文 二十一文	安中 一里 四十二文 二十一文	松井 一里 四十二文 二十一文	碓氷 一里 四十二文 二十一文	板本 一里 四十二文 二十一文	浦和 一里 四十二文 二十一文	大宮 一里 四十二文 二十一文	上尾 一里 四十二文 二十一文	桶川 一里 四十二文 二十一文	鴻巣 一里 四十二文 二十一文	深谷 一里 四十二文 二十一文	本庄 一里 四十二文 二十一文



寺願本東

去三堂

寺願本西

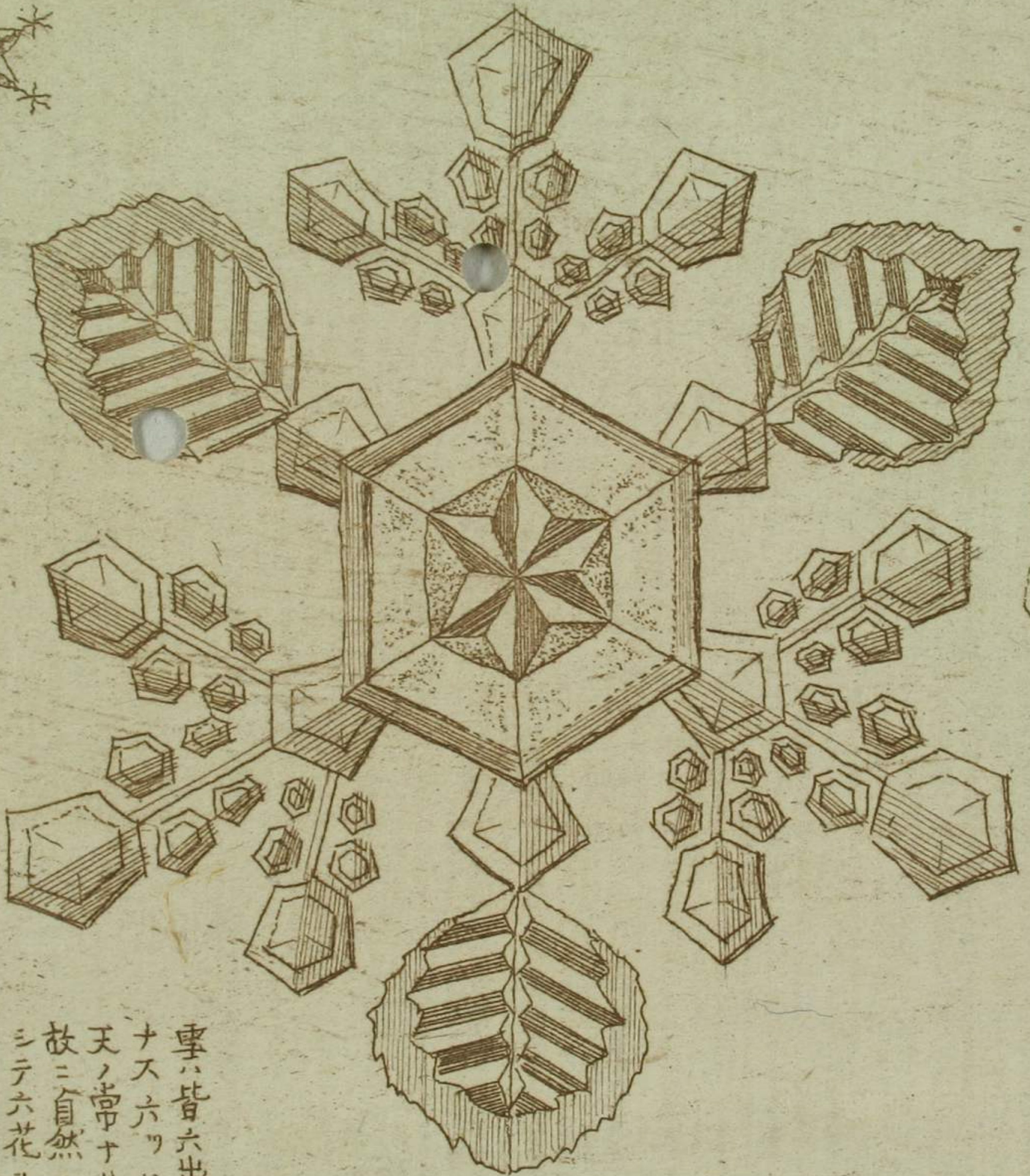
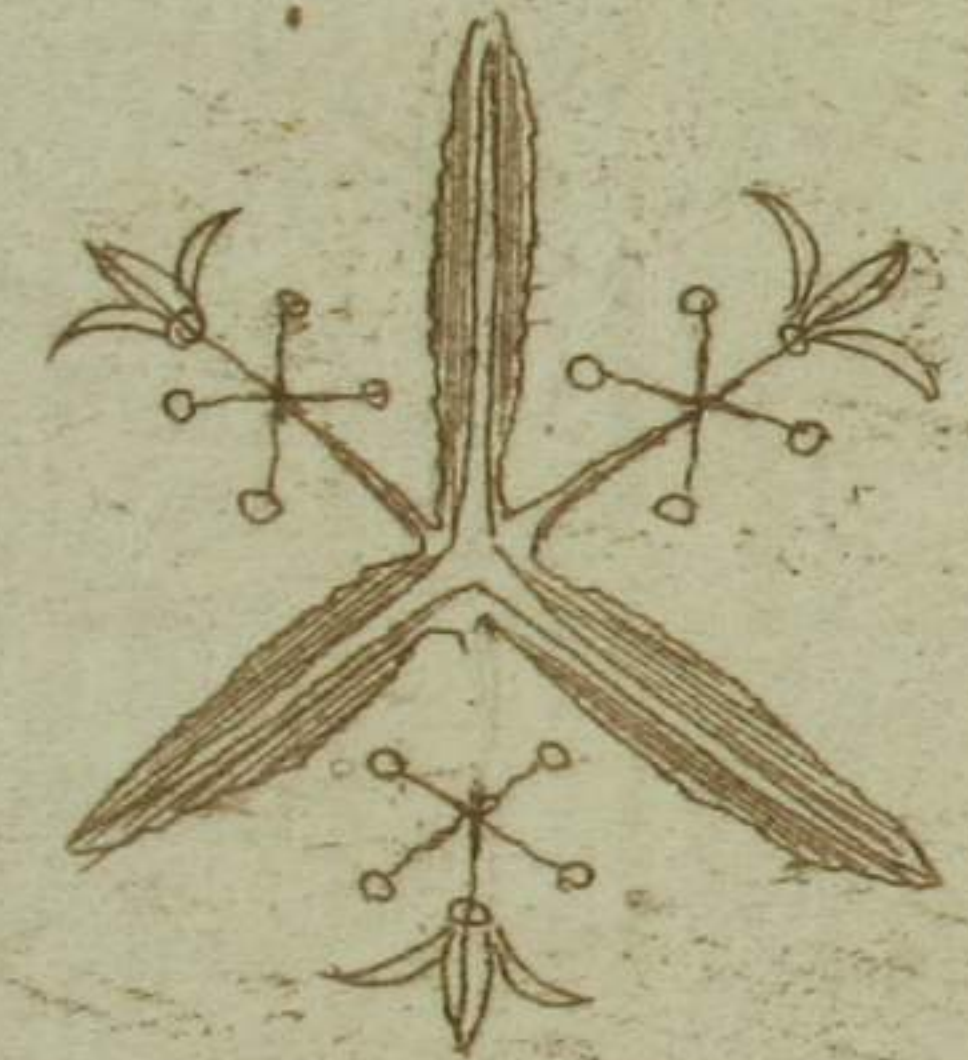




以顯微鏡觀雪花圖前

天保十三丑十二月九八日  
 所見六十余品ノ内

寺三堂



雪ハ皆六出ヲ  
 ナス六ツハ  
 天ノ常ナリ  
 故ニ自然ニ  
 シテ六花ヲ  
 ナス

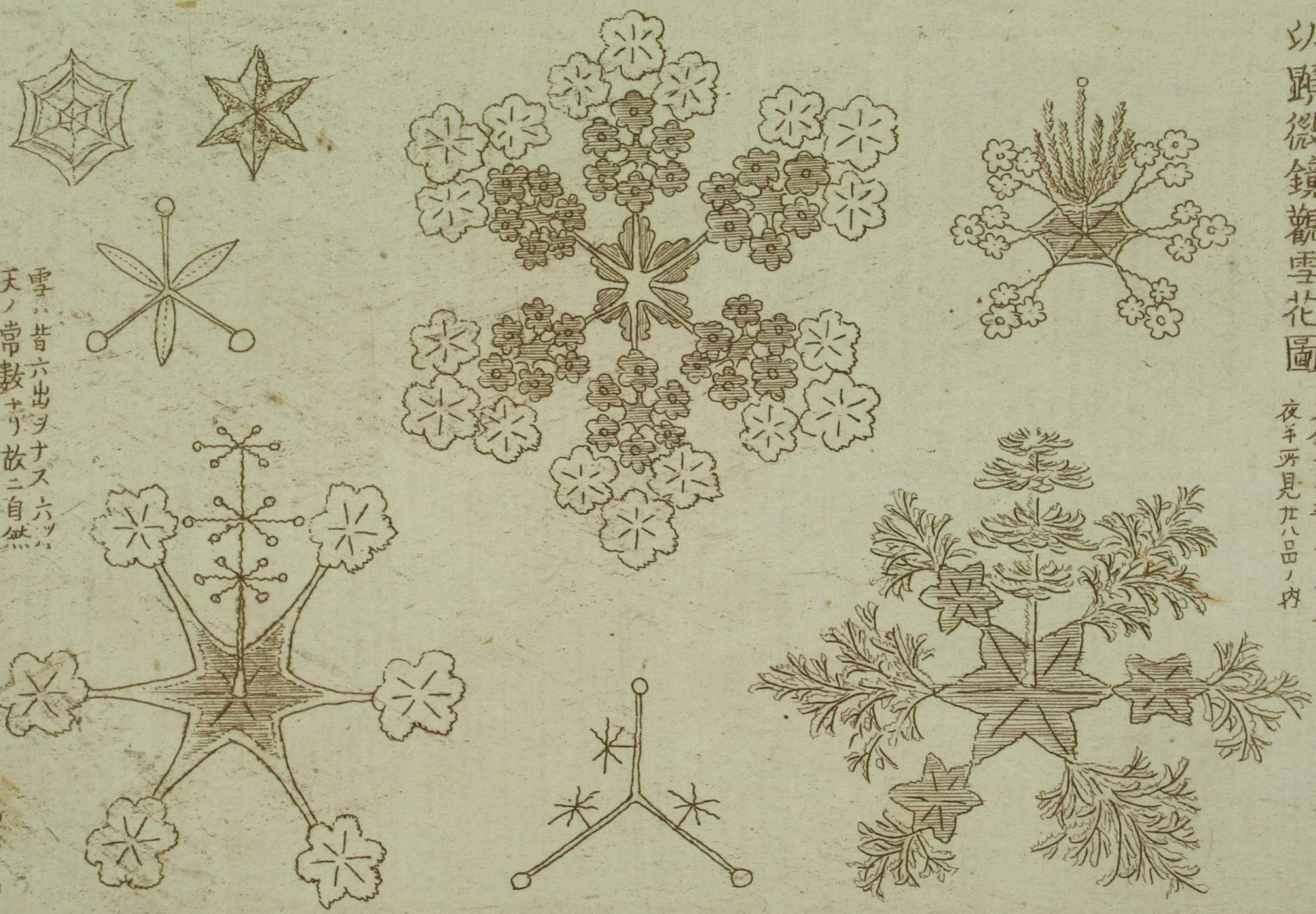




以顯微鏡觀雪花圖<sup>後</sup>

天保十三丑十二月廿九日  
夜半所見九八四ノ内

雪ハ昔六出ヲナス六ツ  
天ノ常數ナリ故ニ自然  
ニシテ六サ花ヲナス



三〇二一〇一



東海道五十三驛道案内





川 糺 茂 加 下

五



60

1

2

3

4

5

6

7

8

9

70

1

2

3



浪華名勝山崎眺望之圖

京都  
玄堂  
寫  
錦









大日本六之玉河

奥州 武州 近州  
城州 紀州 模州

近江 美濃 山崎 小倉

井出玉河

山吹玉河 山城

井出川之水原  
井出東二里半  
和東とよはふ流  
く井出南ヲハテ  
玉水ヲ而木津  
川ニ合入人

玉河乃きく大か  
ふりきくはきく  
地きくはきく  
地きくはきく  
地きくはきく  
地きくはきく



持衣玉河

卯花玉河 櫻津  
松風  
名打し  
玉河

惣持寺北  
雷田北善門  
寺乃前十九三  
今八田蹟トナリ



調布玉河

武蔵  
玉河



笠田玉河

此川八家賦  
古き名体



高野玉河

水

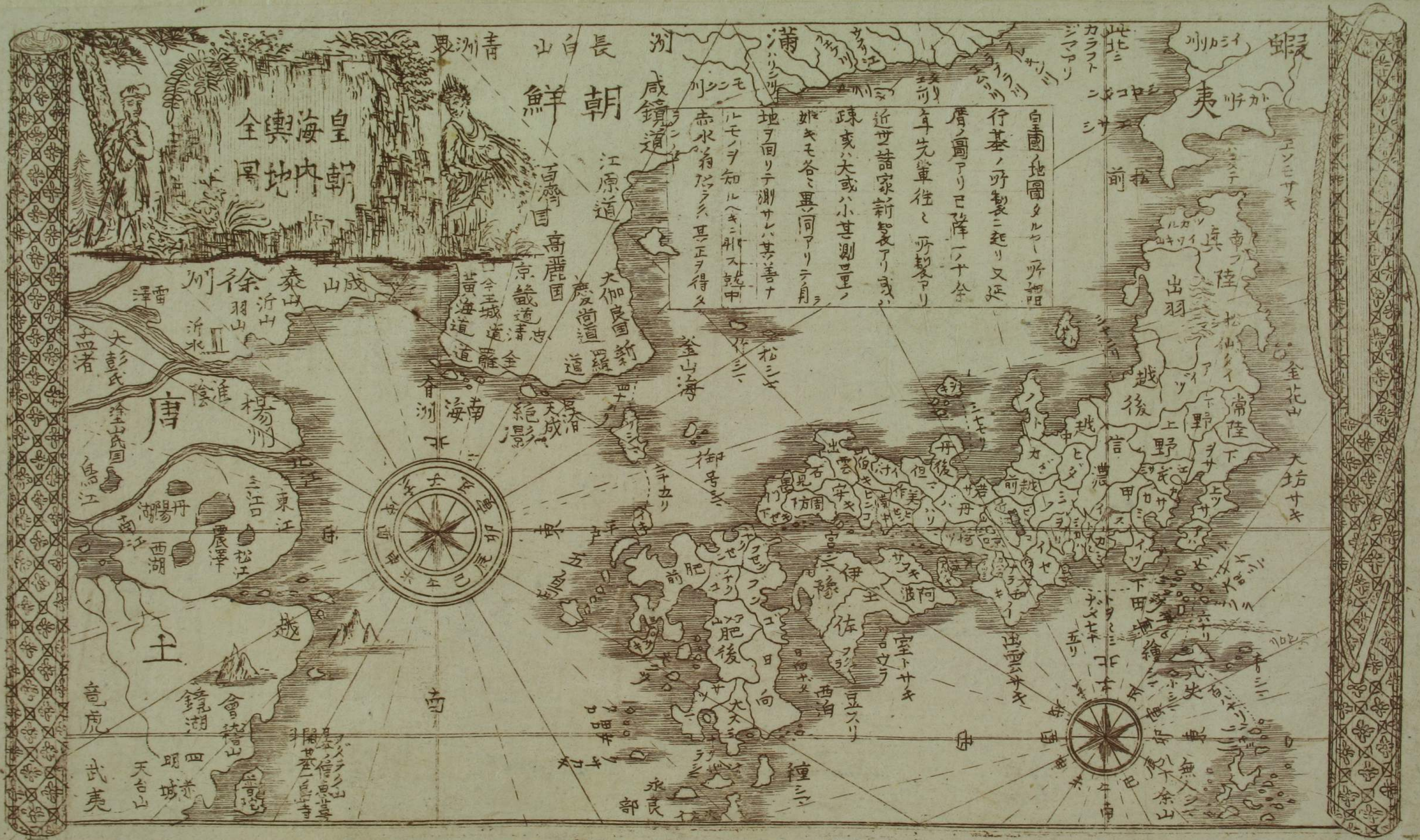


野路玉河

東海道野路重  
西條一里半の傍  
長二回半中一回半の  
埋三小池は下を流  
十九とといはれ







皇朝  
海內  
全輿  
圖地

鮮朝

咸鏡道

江原道

百濟國

高麗國

大伽羅國

慶尚道

京畿道

黃海道

唐

泰山

沂山

沂水

揚州

丹陽湖

西湖

土

鏡湖

會稽山

天台山

音鹿

武夷

白國地圖タルハ所記  
行基ノ所製ニ起リ又延  
曆ノ圖アリ已降一十餘  
年先軍往ト所製アリ  
近世諸家新製アリ或ハ  
疎或ハ大或ハ小其測量ノ  
地ヲ回リテ測サレ其善ナ  
ルモノヲ知ルヘキ則ス就中  
赤水翁ガ所製其正ヲ得タ

蝦夷

前

出羽

越後

信濃

甲斐

下野

上野

常陸

陸奥

出雲

美濃

尾張

越前

石川

富山

福井

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

滋賀

京都

大阪

和歌山

奈良

三重

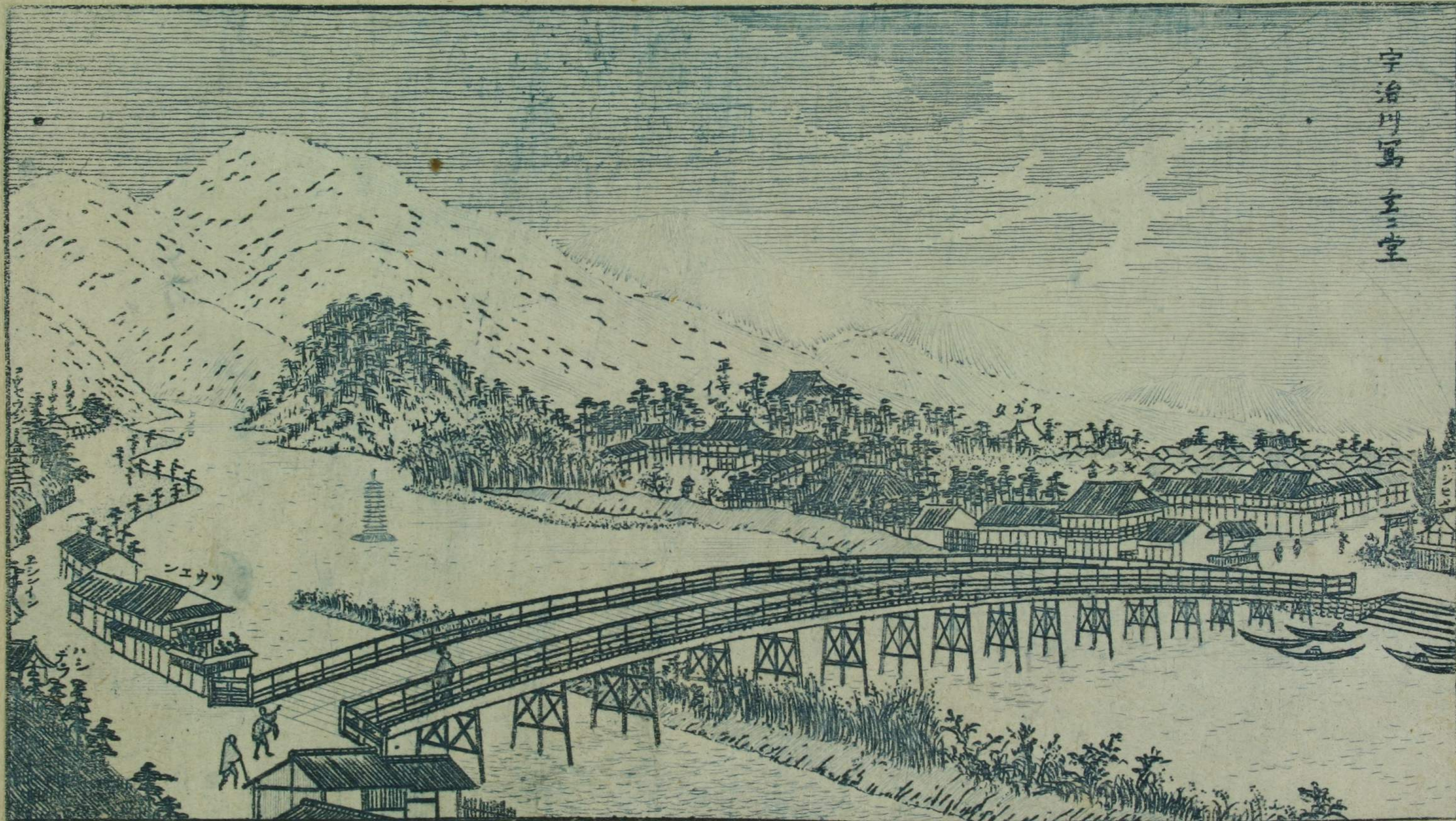
滋賀







宇治川寫真堂



60

1

2

3

4

5

6

7

8

9

70

1

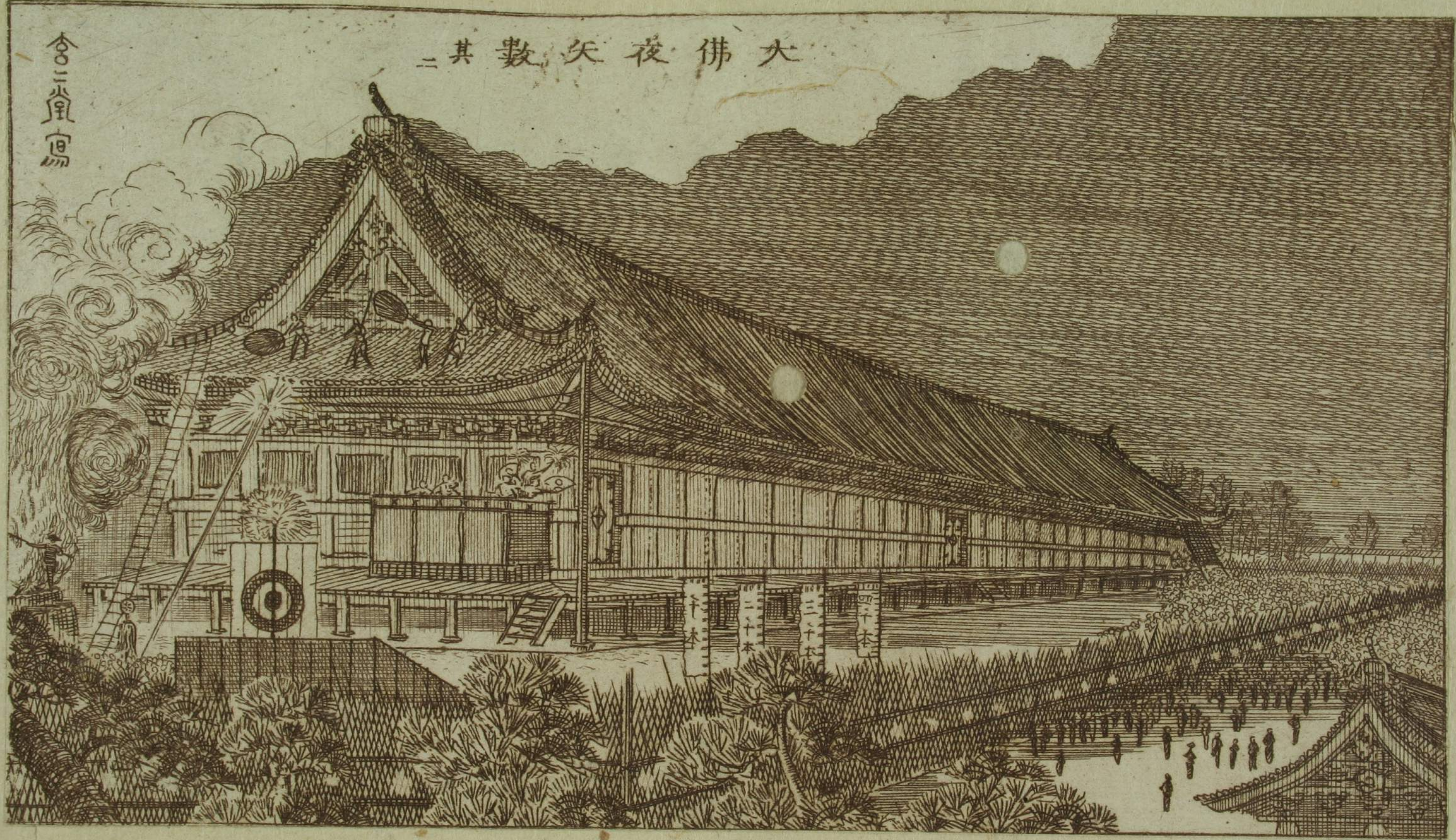
2

3



大佛夜矢數其

合三風寫



70

1

2

3

4

5

6

7

8

9

80

1

2



嵯峨之春嵐山

五





洛東八坂

古二





金閣寺



金閣寺  
idagokj.





北野天満宮

北野天満宮



70

1

2

3

4

5

6

7

8

9

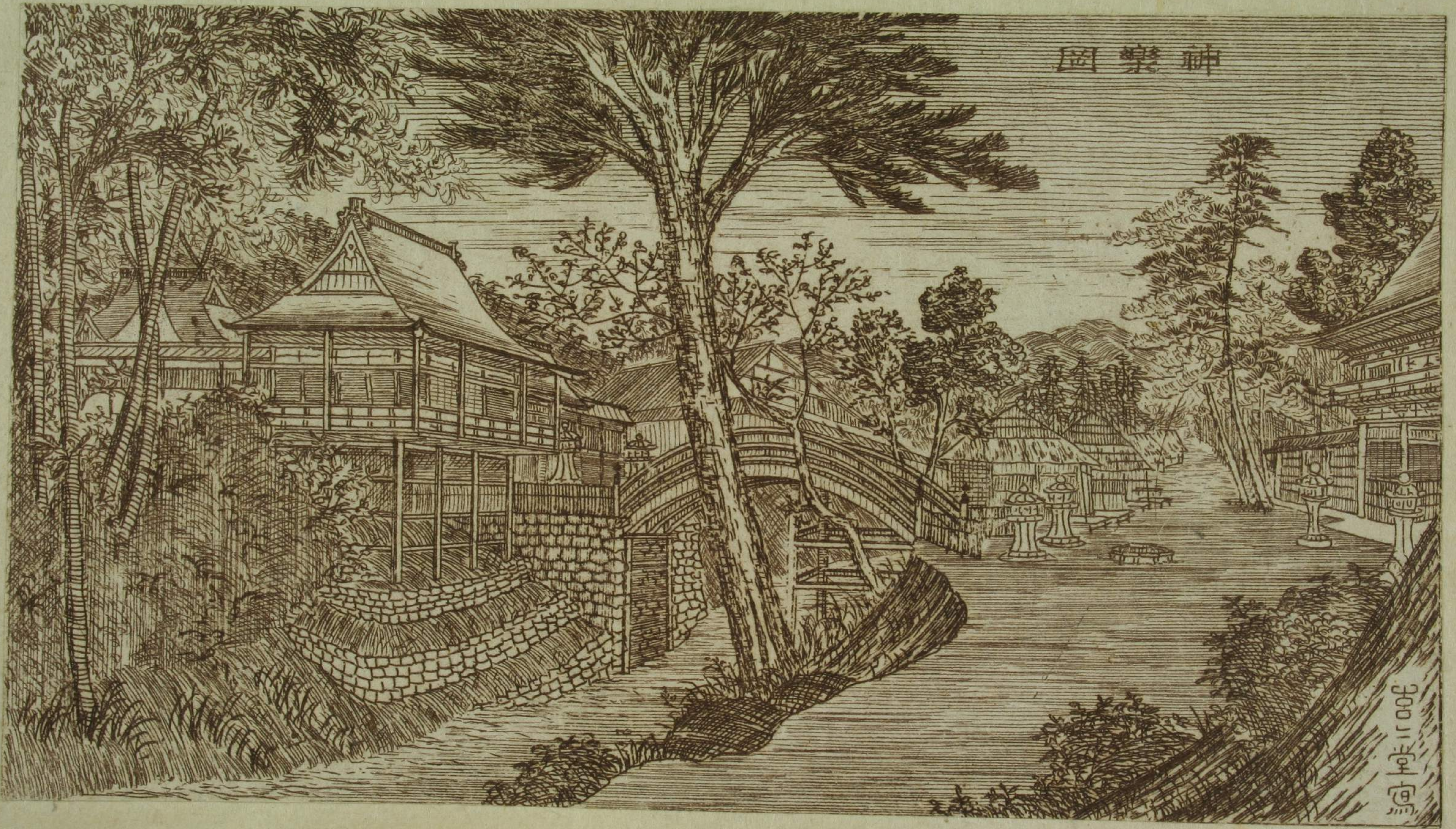
80

1

2



神樂岡

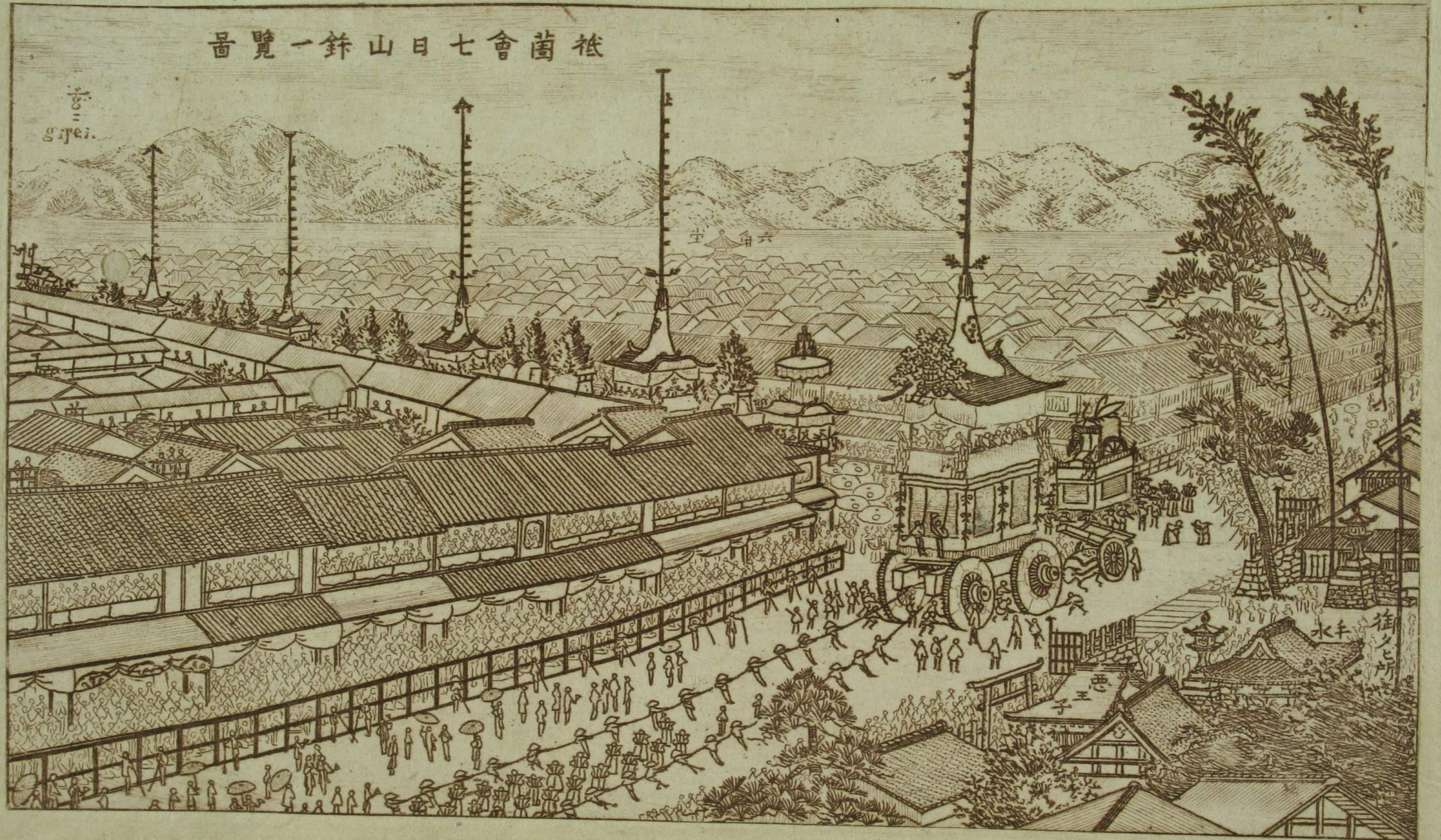


岡神樂





祇園會七日山鉾一覽

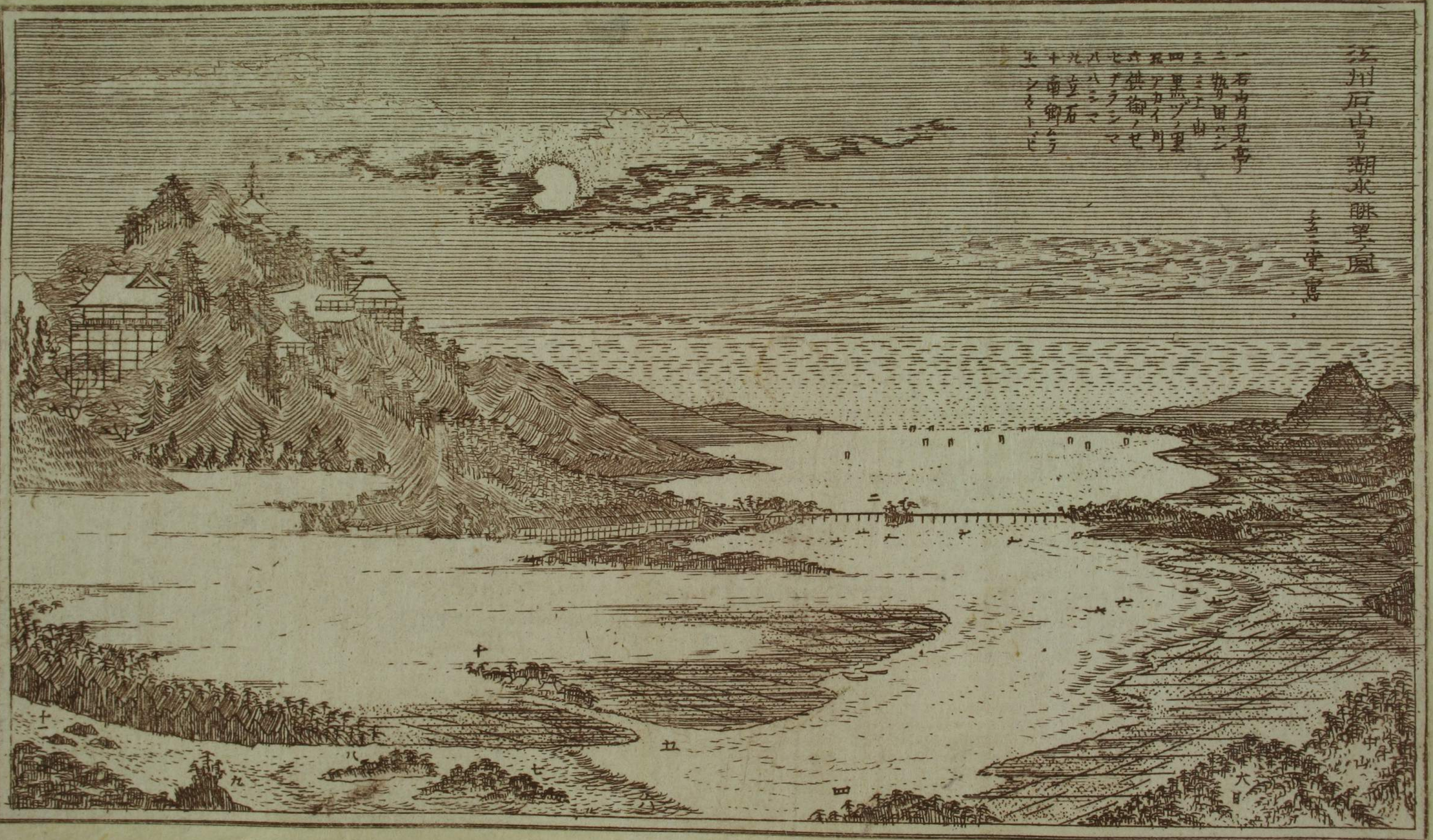




江州石山寺湖氷融望之圖

玄室寫

- 一 石山月見亭
- 二 物田山
- 三 三上山
- 四 黒山
- 五 アカイ
- 六 供御
- 七 アラシ
- 八 ハシ
- 九 立石
- 十 南御
- 十一 シ





東山若王寺



玄玄堂









洛西二十勝景

子木石鋪



北野



金閣



廣澤遍照寺



三王寺



嵯峨之秋



蟹之宮



向日明神



長園其二



長園



嵯峨吐月橋



桂川夕照











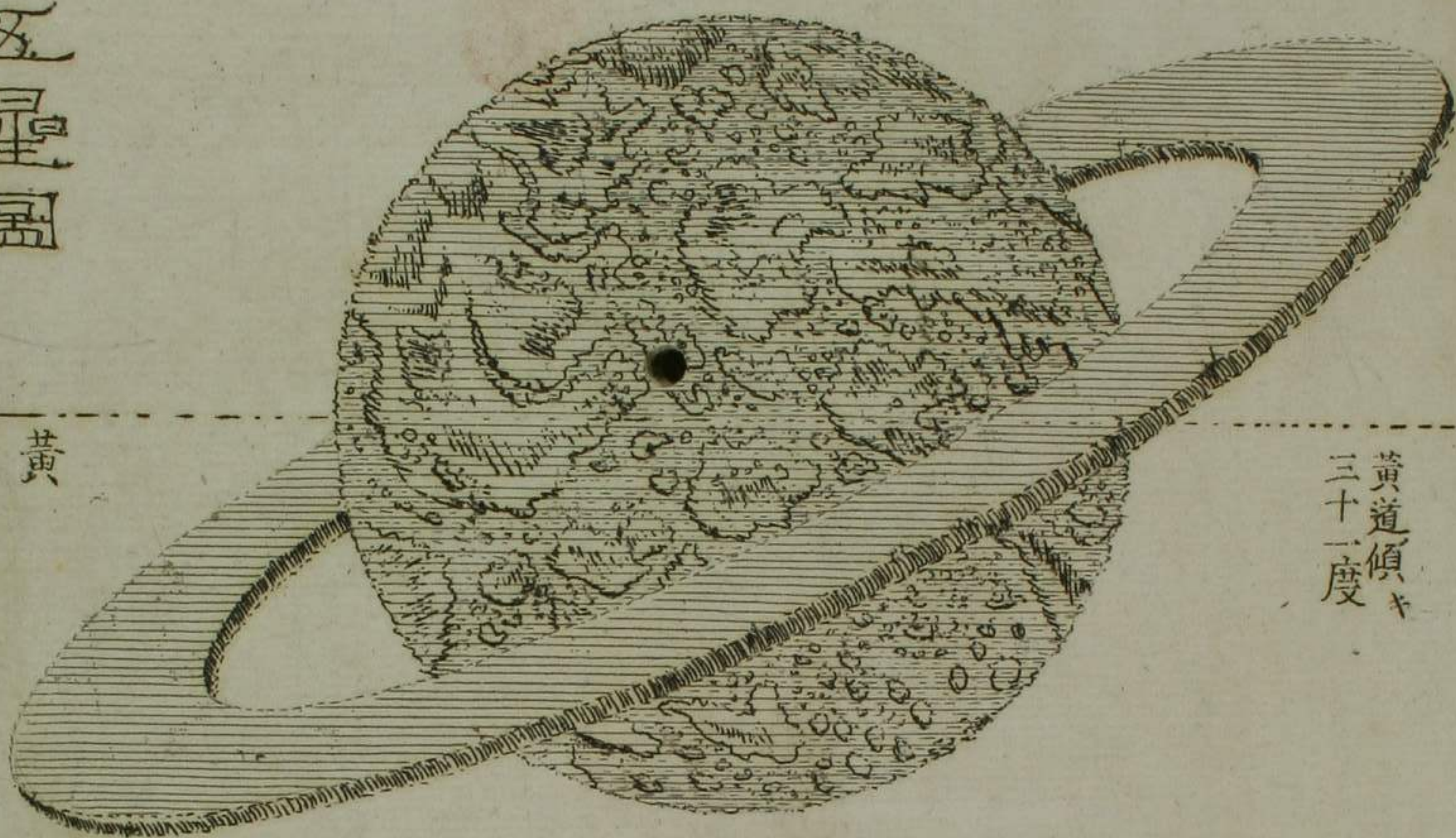






觀  
五  
星  
圖

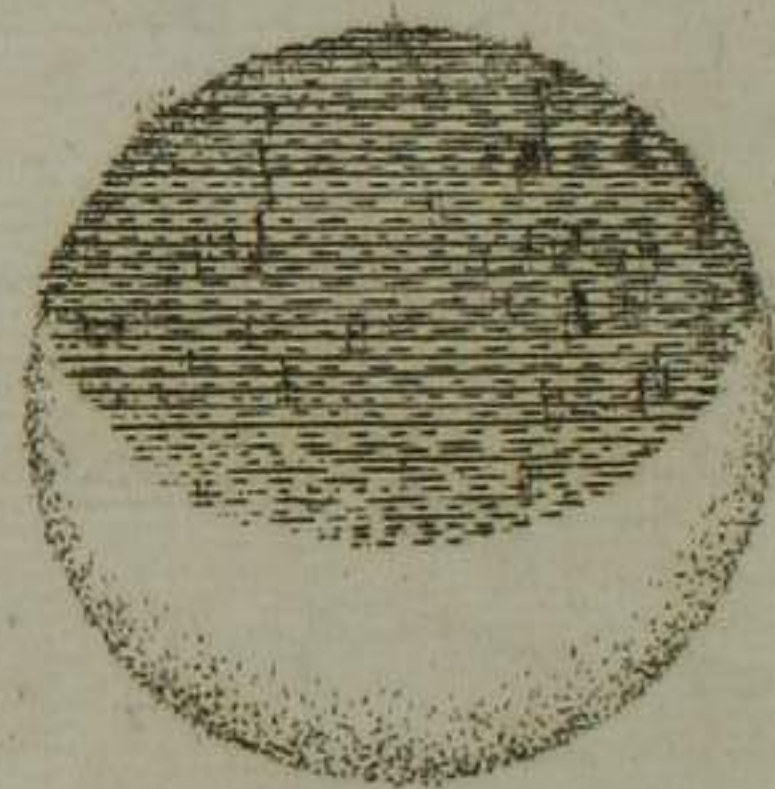
土  
星



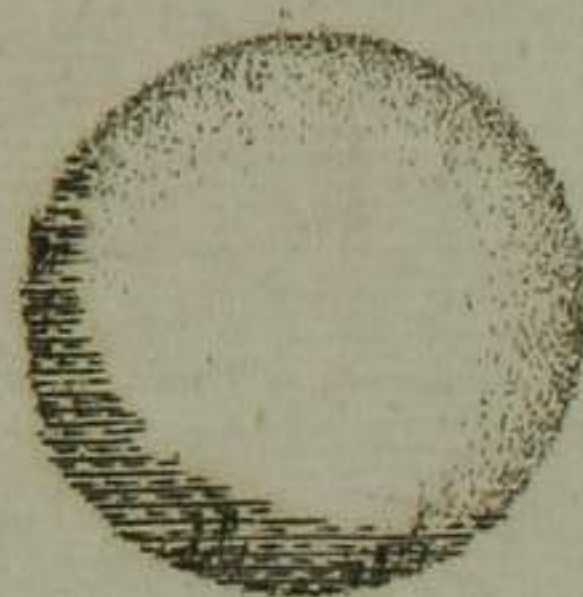
道黃

黃道傾  
三十一度

木  
星



金  
星



火  
星



水  
星



天竺錫蘭諸島驚山圖

あしむせり  
 靈鷲山 高きと  
 十二里  
 印帝亞セイラン島に在り  
 高山を以て終極に至りて  
 草木茂りシユロの木のみ  
 さあ、椰子の樹ありき  
 へて多くありて、因は木  
 多し



○天竺驚山の説  
 ○釈迦傳の傳  
 印帝亞國に錫蘭と云  
 海あり島の中央にア  
 ムスといふ山あり其  
 高十二里に及ぶといふ  
 天竺驚山を以て之を  
 トリといふは十二  
 里の山に及ぶといふ  
 道は険しき峻山を  
 行て難きなりといふ  
 者の方を仰ぐ頂はミ  
 白りあり其の別ま  
 て山は白く山ト云  
 合て一の河とある者  
 つけて三チガニカト  
 云三月神より山入  
 けり水はひりて其  
 をまんげして登る者  
 山はよりなるたや  
 老ぬ石を柱といひ  
 ありて之を以て  
 仏祖のつくりといふ  
 此舎の禮堂といふ  
 ありて其のつくり  
 にも、さう丹の平  
 地ありたの方の山  
 せ他を以て山の者  
 いきつきの所なり  
 方より、其の山麓  
 の堂有しと云ふ者  
 け山、少く者、天竺國  
 中の人のいふは、八  
 シヤ、唐土を介して  
 の他より参拜す  
 ○天竺驚山の事  
 あり、其の子十八の  
 年を以てて、老を  
 の其を以て、人、世  
 界の轉變を、釈迦  
 忽ち一念発起した  
 ち、世を去りて、  
 此方の後、印帝亞と  
 かく、山といきいて  
 天竺驚山といふなり  
 此山は、石を以て、  
 柱なり、内、子、ら、他  
 念、心、を、おこ、せ、ま、  
 為、小、衆、を、と、ま、  
 と、敵、を、そ、ろ、  
 する、神、の、力、を、  
 示、す、後、彼、太、子、の、  
 像、を、他、に、し、む、佛、  
 塔、を、り、其、塔、を、  
 子、の、法、を、傳、  
 せ、し、む、と、い、ふ、  
 事、を、い、ふ、  
 以下略

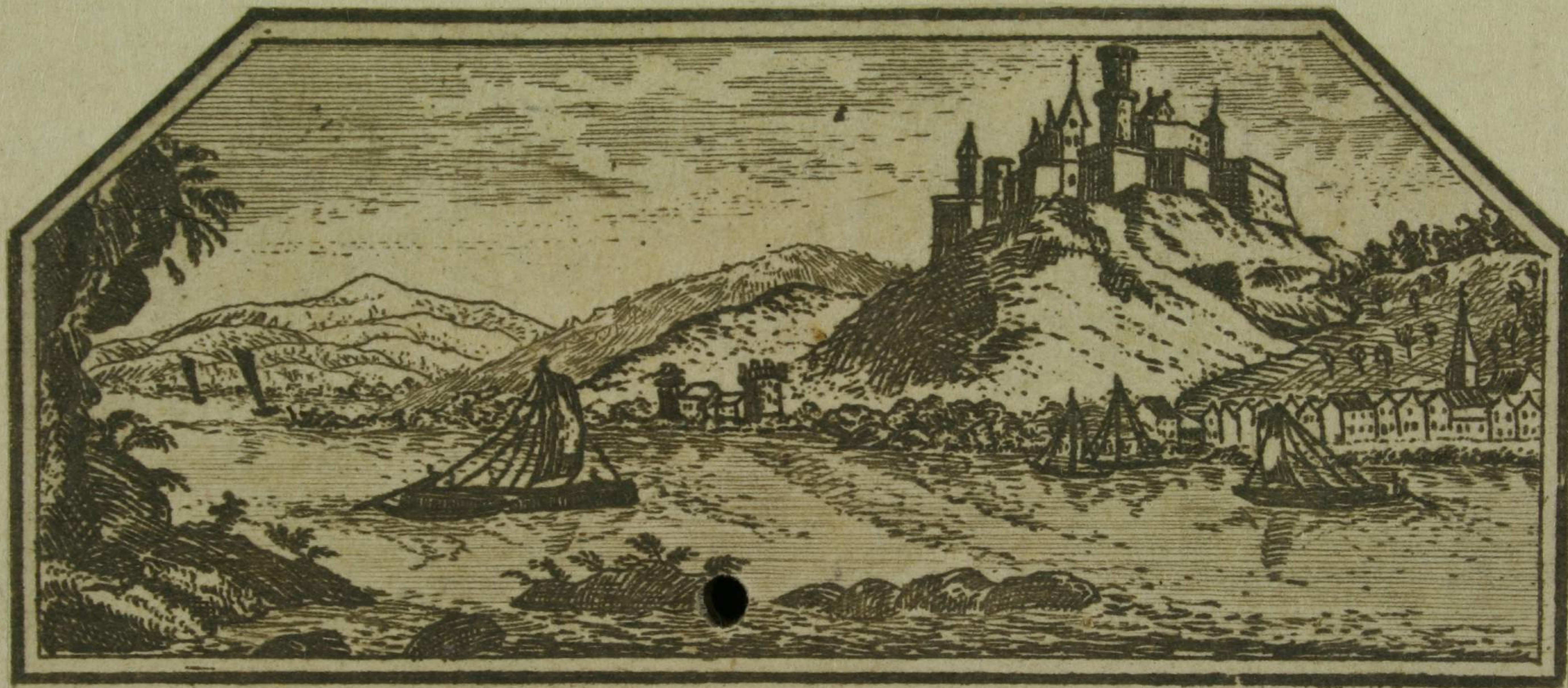
此書は阿茶院書  
 ハレンティト云地理  
 之書中ニアリ











堂 = 玄

西 洋 人 支 那 紀 行 之 內

70

1

2

3

4

5

6

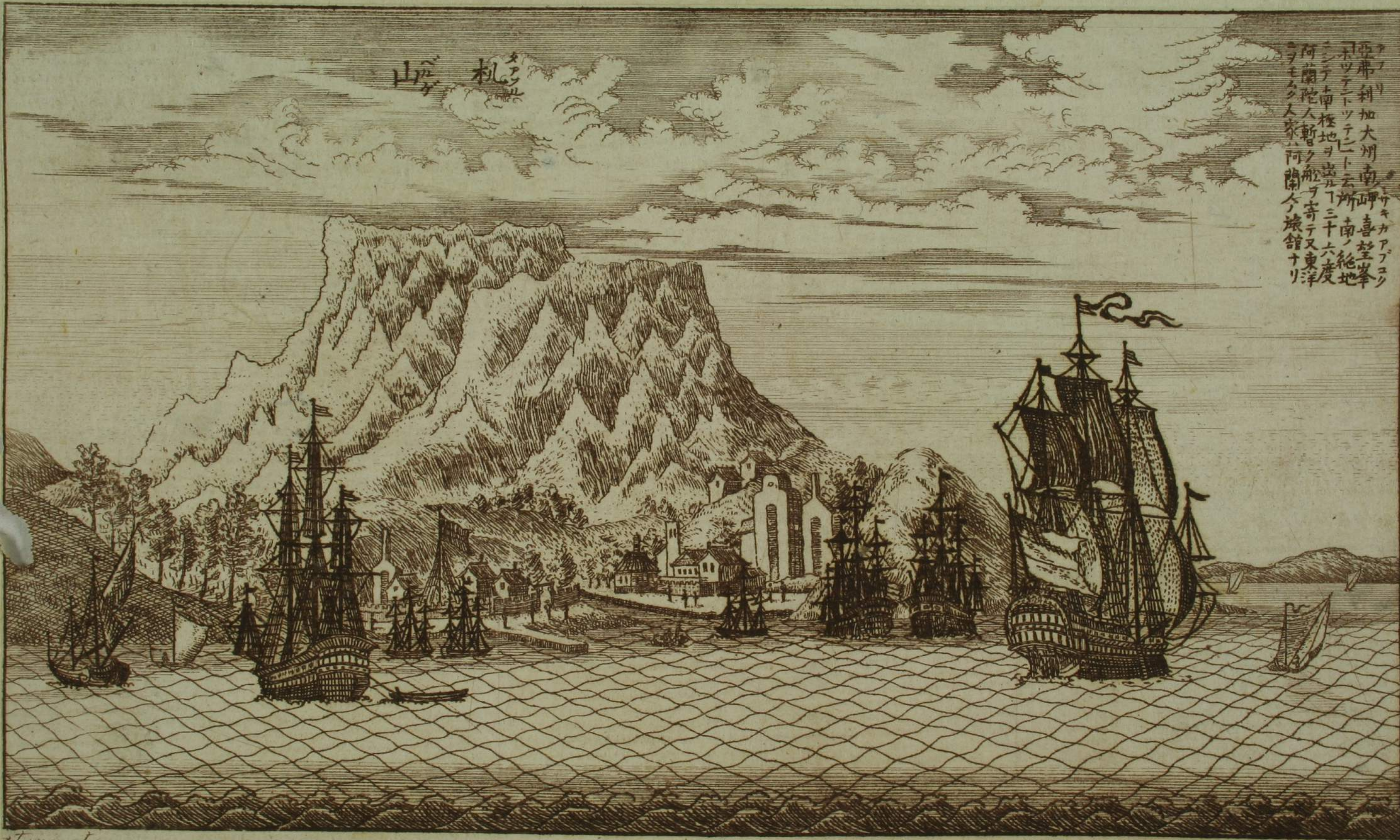
7

8

9

80





亞弗利加大州南岬喜登峯  
 南緯三十三度  
 阿蘭陀人暫ク船ヲ寄テ又東洋  
 ヲモク人來阿蘭今旅館ナリ

AFERIKAFOTSTENZE.













都三條大橋夏景

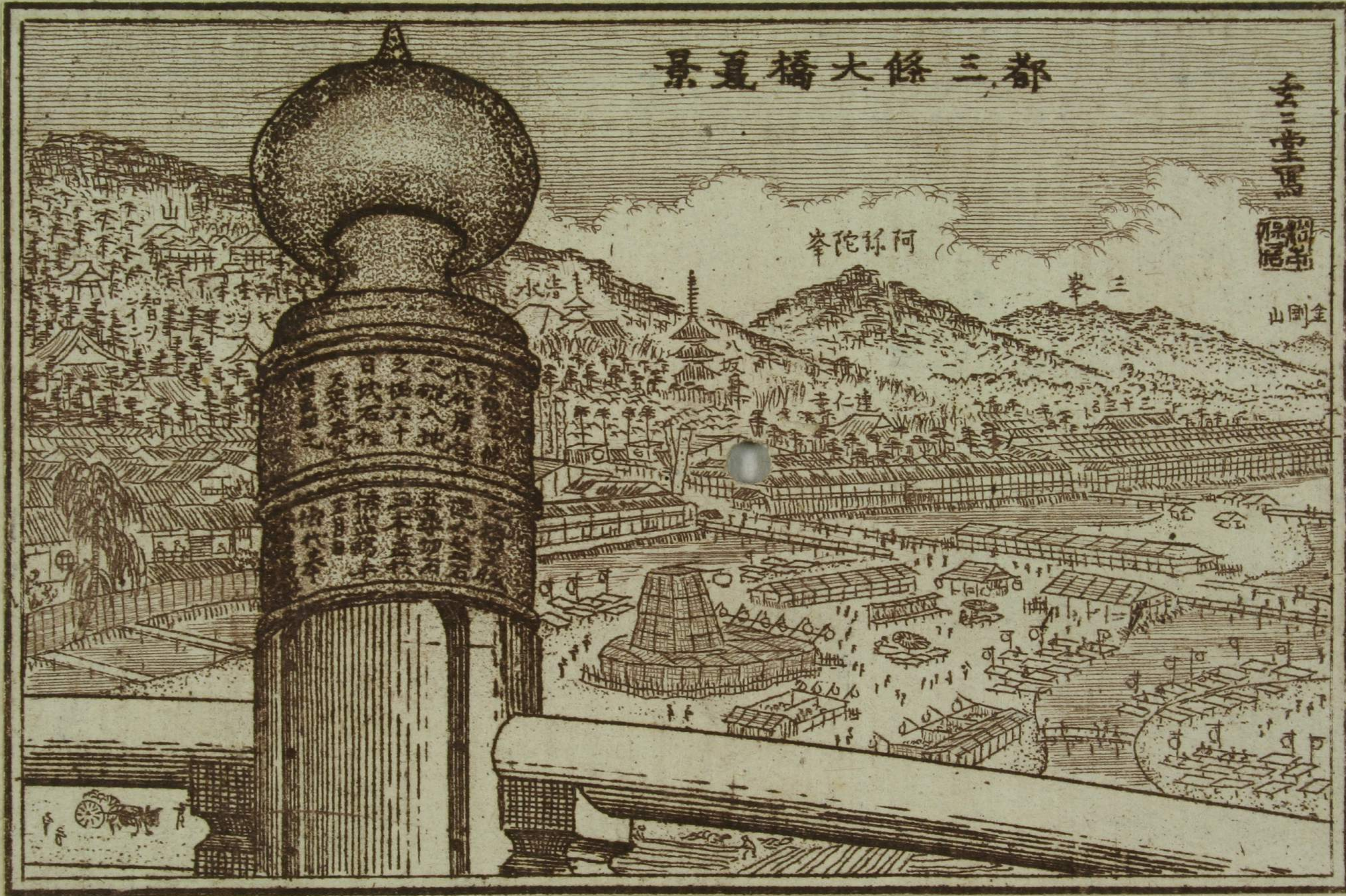
三堂寫



阿陀山

三峯

金山剛





東海道  
富田

堂

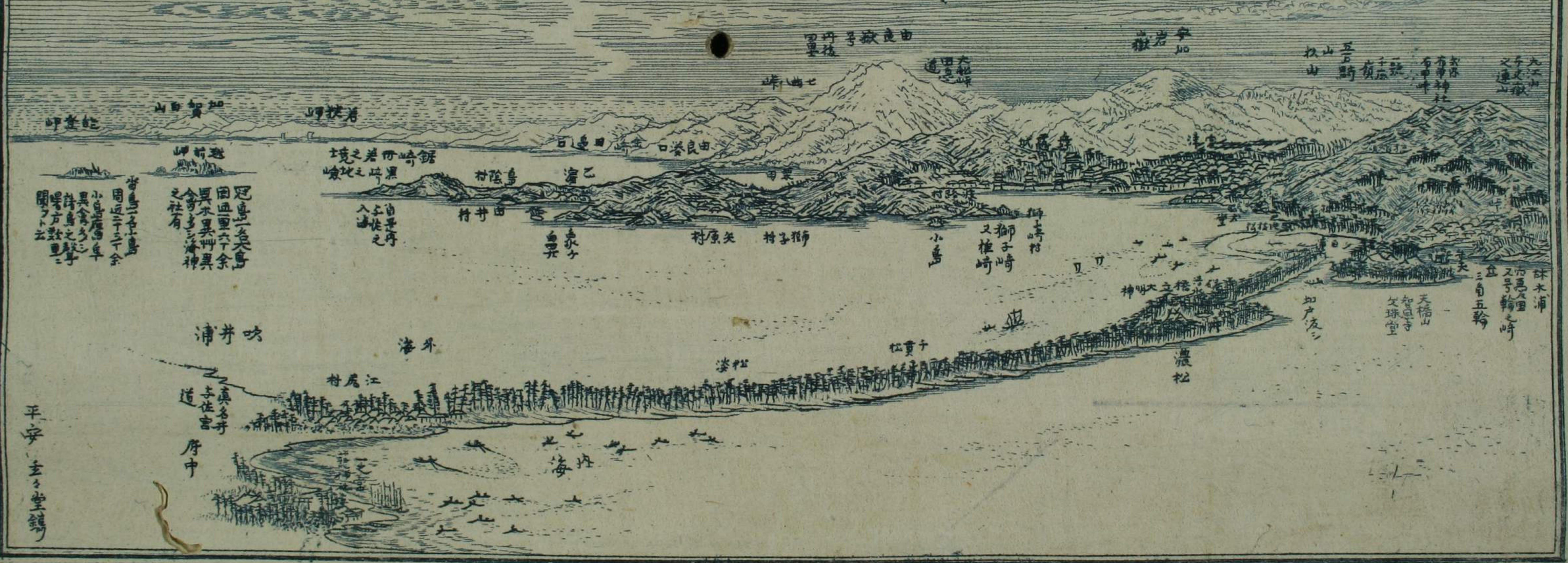




# 登世谷山 一望天橋 之圖

風土記曰丹後國與郡民方  
有連石里解按里中有長  
大洲長二千二百二十九丈廣  
及丈二尺名天橋所謂陰陽二  
神立天浮橋是故得此名又  
名奇戶瀨瀨秋嶋如魚鱗  
六里橋野又登栗田山觀之  
長沙如引素標故号素標  
内海通西四里余餘字外海左  
自擊崎右至無崎間近八里余  
也皇國三景之一而實處  
外之壯觀可謂花風月雲之四  
時朝吟暮嘯之勝地也  
元明寺御宇對丹波五郡始  
置丹波國加佐與謝丹  
波作野加佐與謝丹  
有丹波御宇加佐與謝丹  
登丹波御宇加佐與謝丹  
以其地相應多河瀨則其所  
谷大野谷網野谷加佐與謝丹  
三母之村落悉以谷名也  
以地相為用名非無其例也  
國名風土記曰新瀨紀而池水  
變河波瀨故為國名之說  
依者加佐與謝丹之名古  
書曰笑原神社魚井觀宮  
觀者瀨野井水之器也社記  
曰宮邊人志戶則是所以真  
名并上佐官之号為郡各也以  
社号為郡名之名亦非無其例  
也

元乃陽之秋と月を  
詠ふ歌  
正百枝よと月夜桂乃  
花代香小そて下れ  
天のくく之  
十歳嶺高海霧城  
雨奇暗好不堪情  
天橋月度落韓海  
響遠松風六里擊  
天保庚子桂華月  
東奥磐井郡東奥居士  
鴨雛金時香圖并題  
於大江山下之旅窓





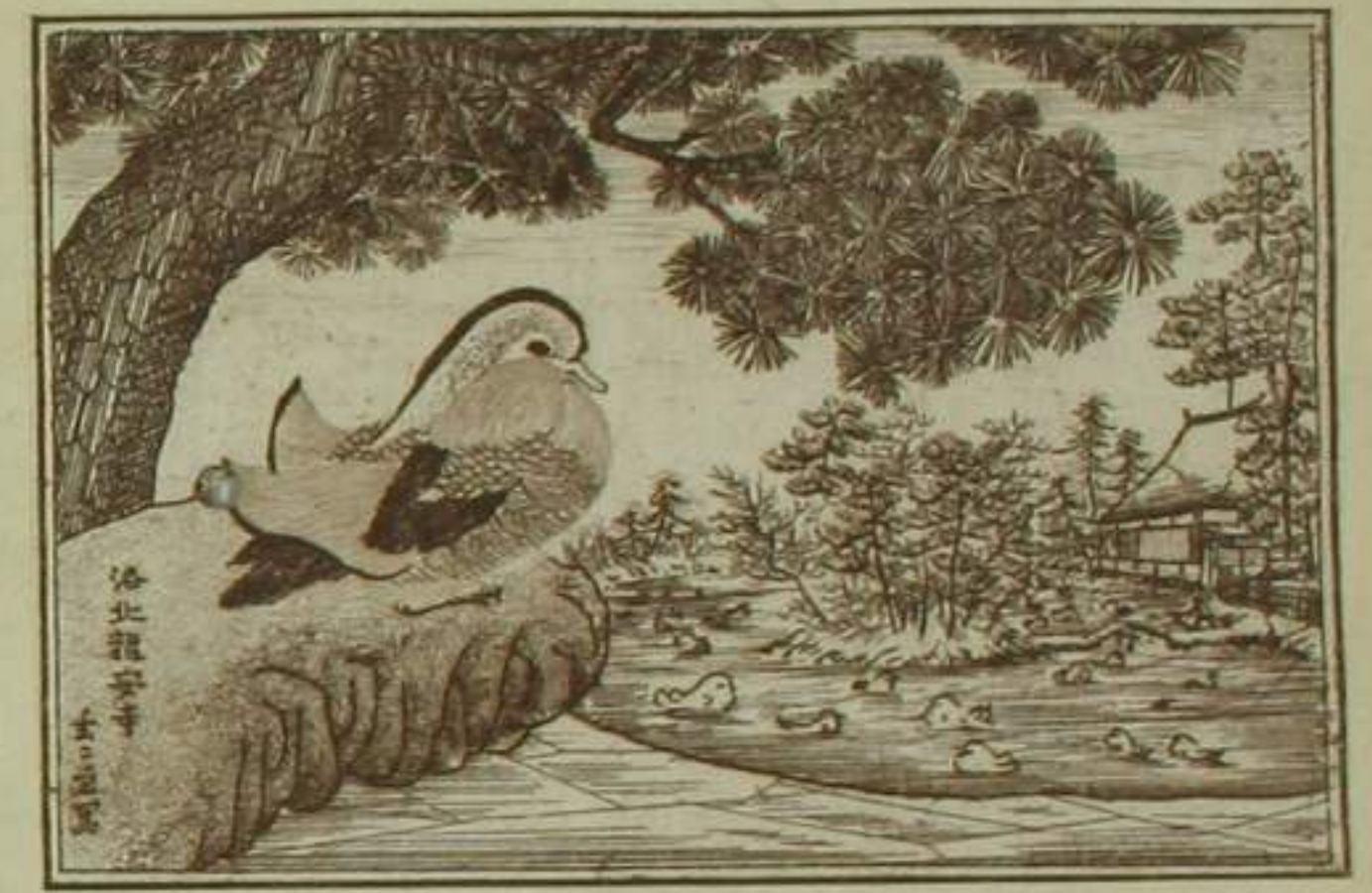
定川風景

定川





天保十五年歲次甲辰春二月 并上政澤藏







洛北龍安寺

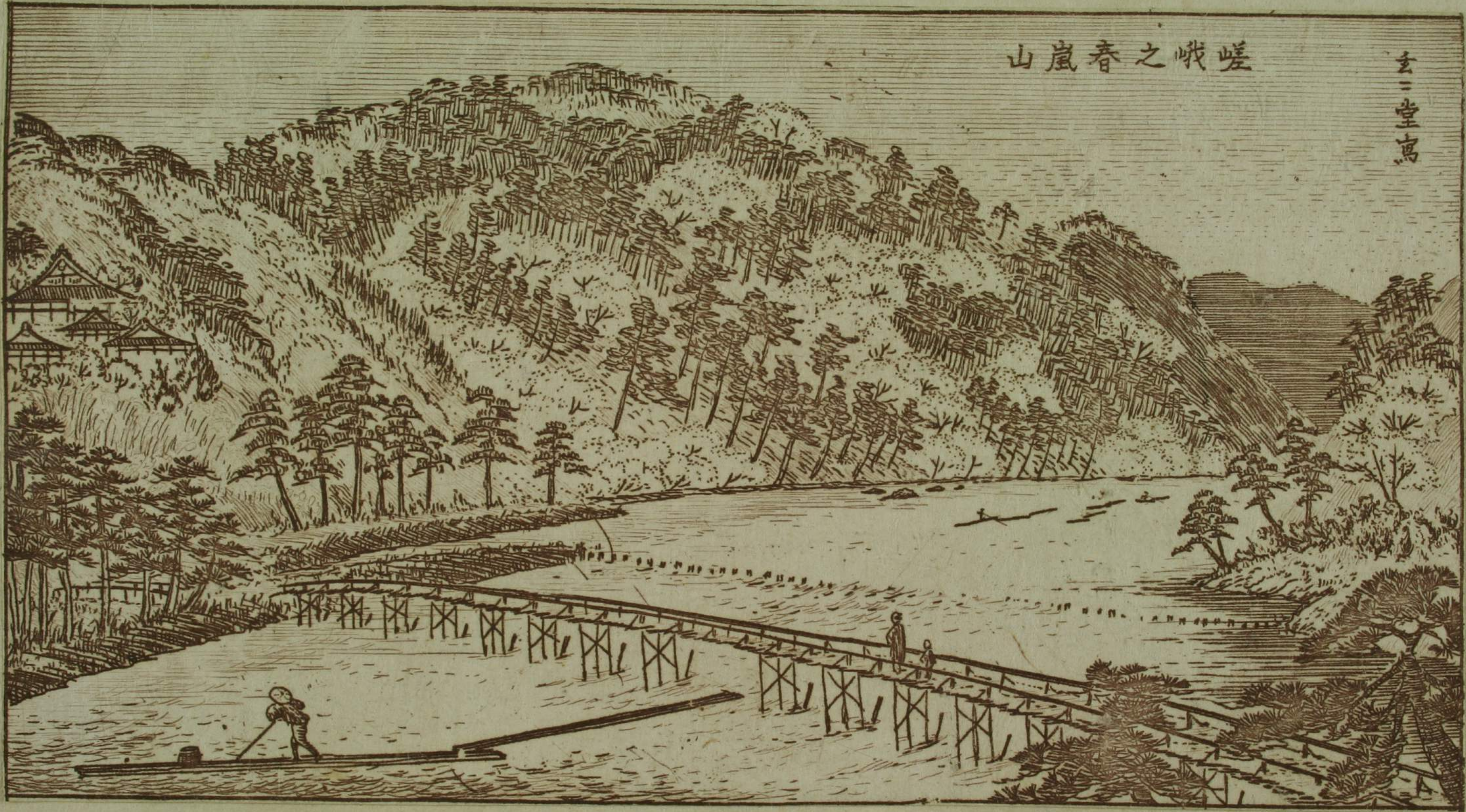
林下





嵯峨之春嵐山

玄堂寫



80

1

2

3

4

5

6

7

8

9

90

1

2

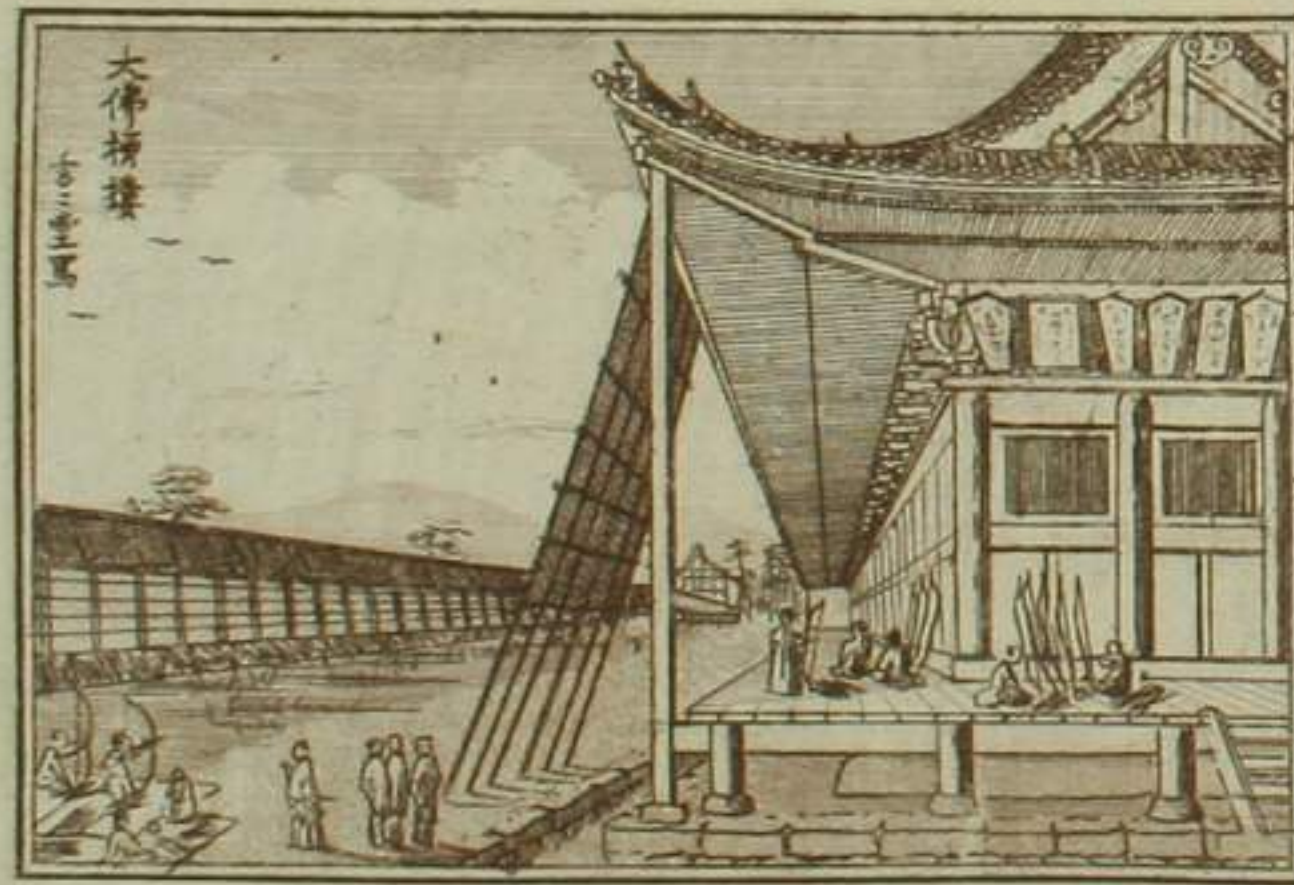
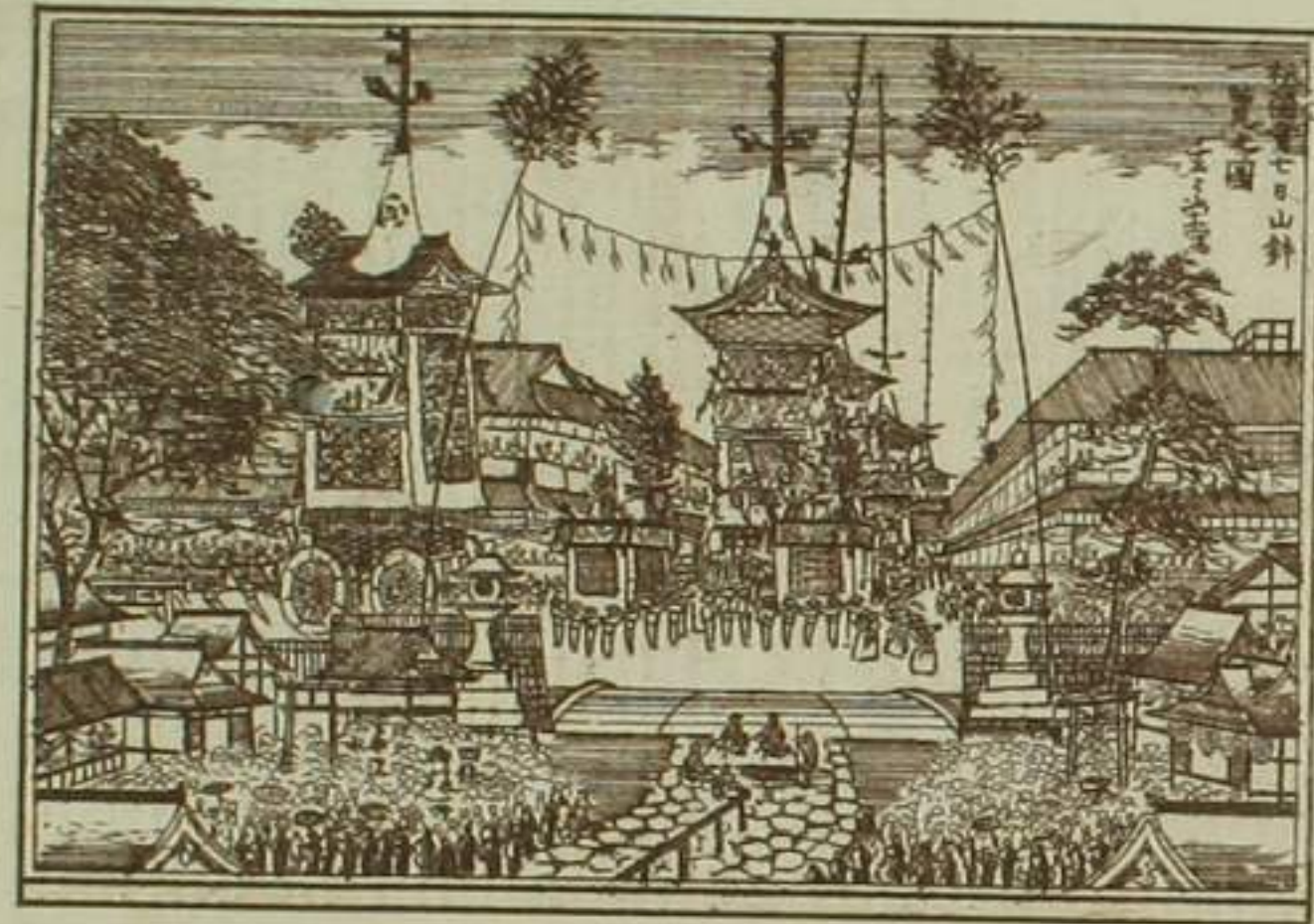
3

4











嵯峨春嵐山



9

80

1

2

3

4

5

6

7

8

9

90

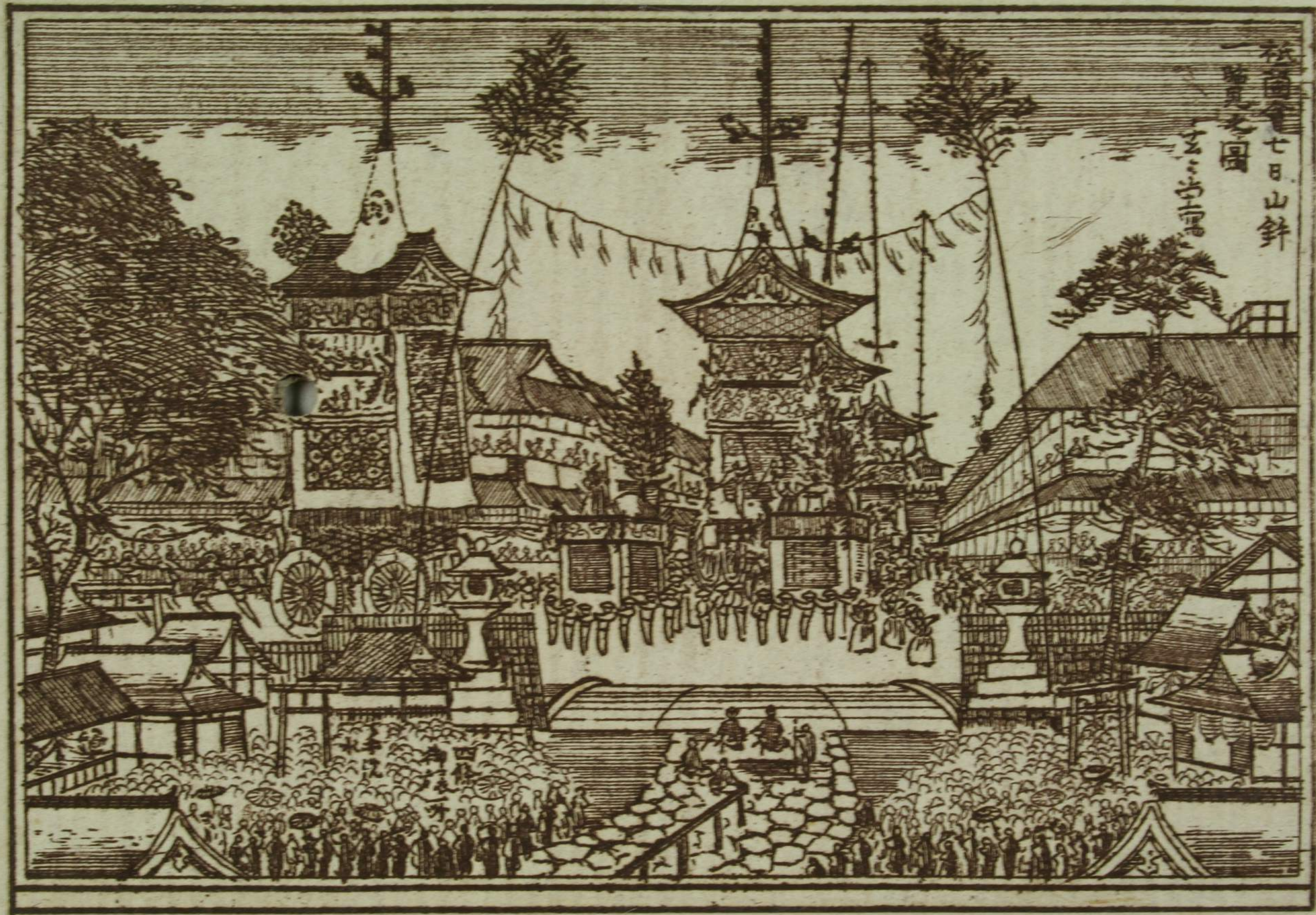




東山天皇御宇  
其地有寺  
其寺名曰  
其寺名曰  
其寺名曰  
其寺名曰  
其寺名曰  
其寺名曰  
其寺名曰  
其寺名曰

9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90

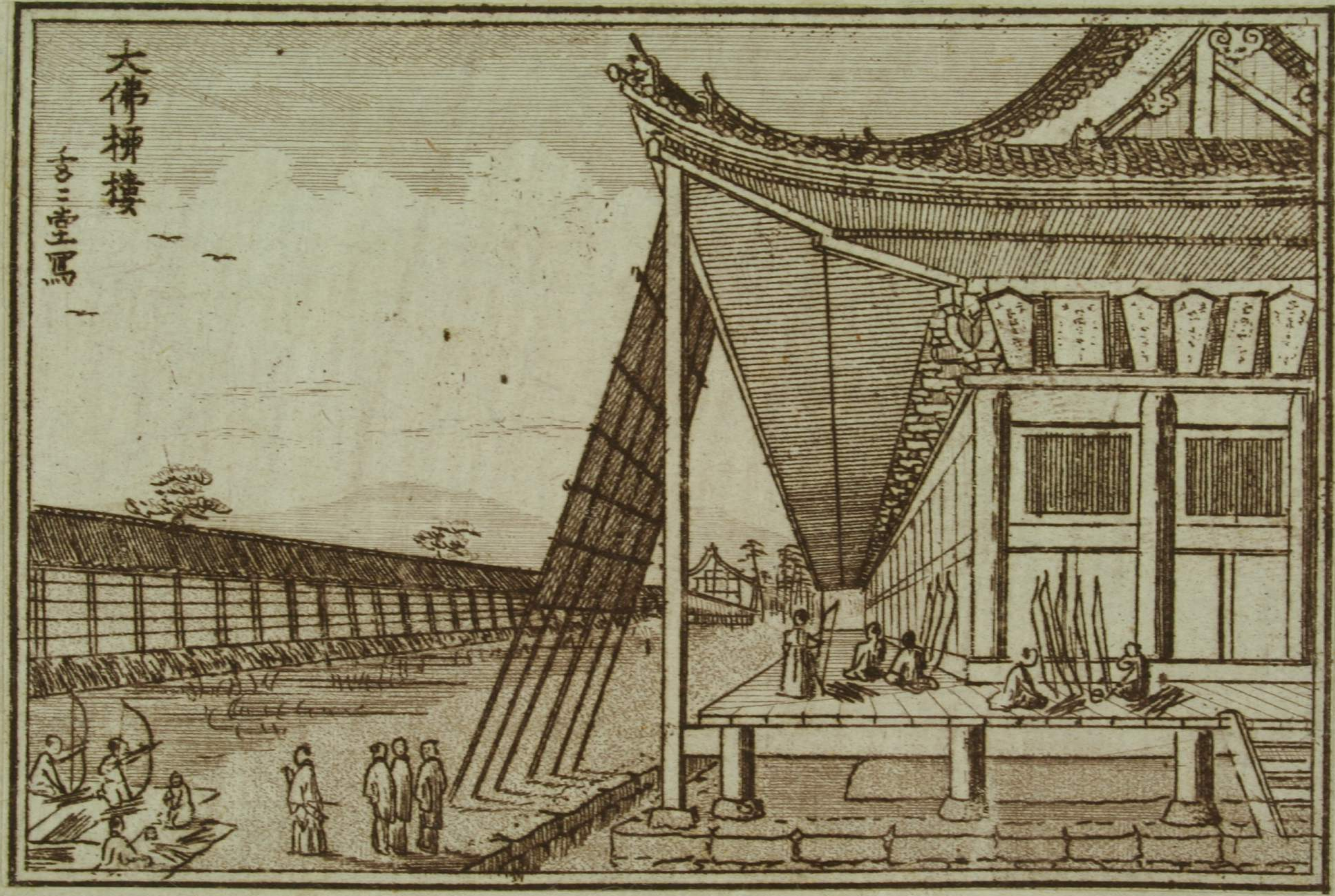




一覽之圖  
七日山針

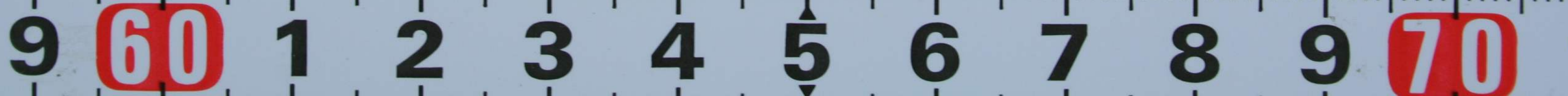






大佛栴樓

寺三堂寫





gen.

浪花名勝標喉場風京



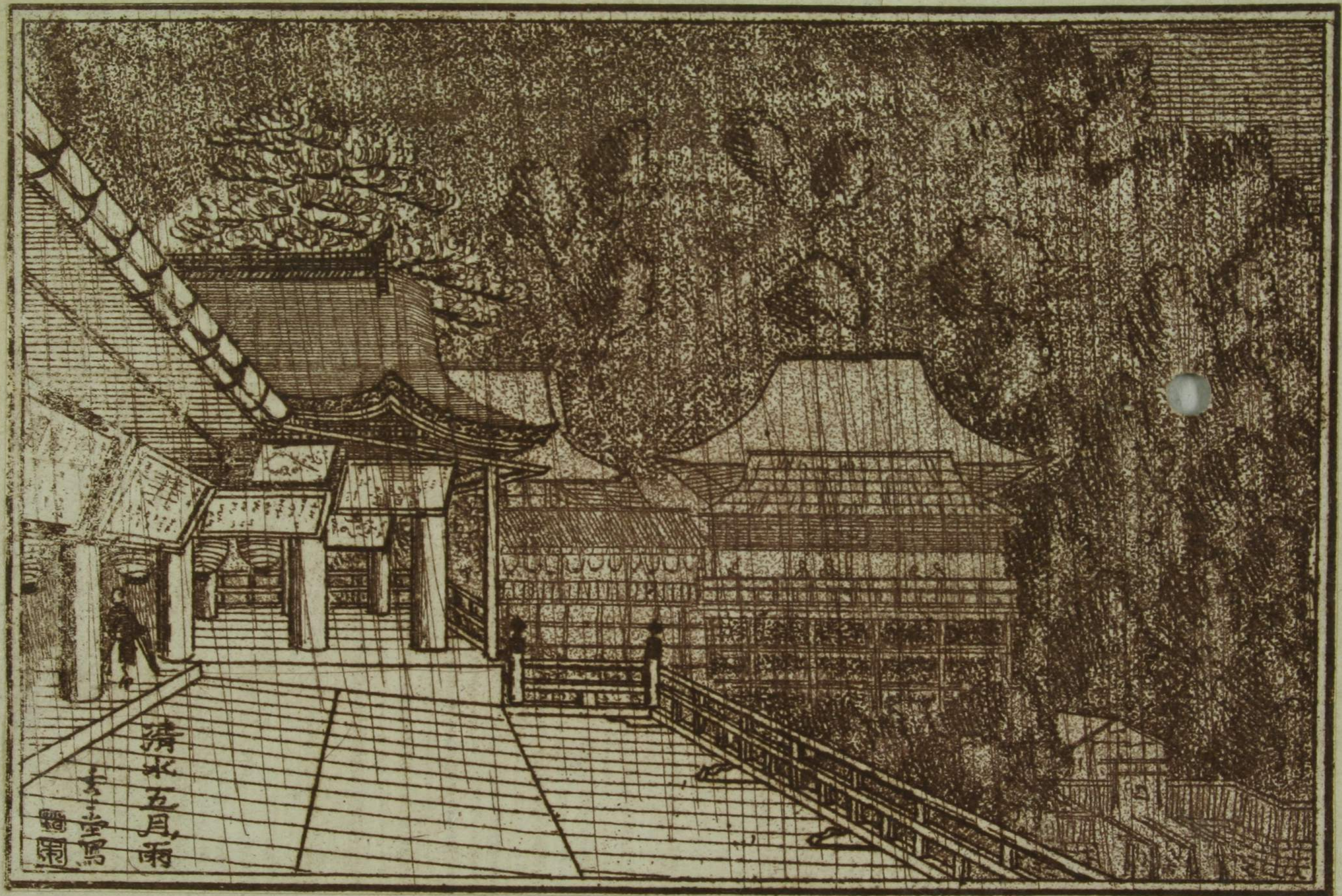


三堂寫

御室春之景







清水五月雨

大正五年  
繪



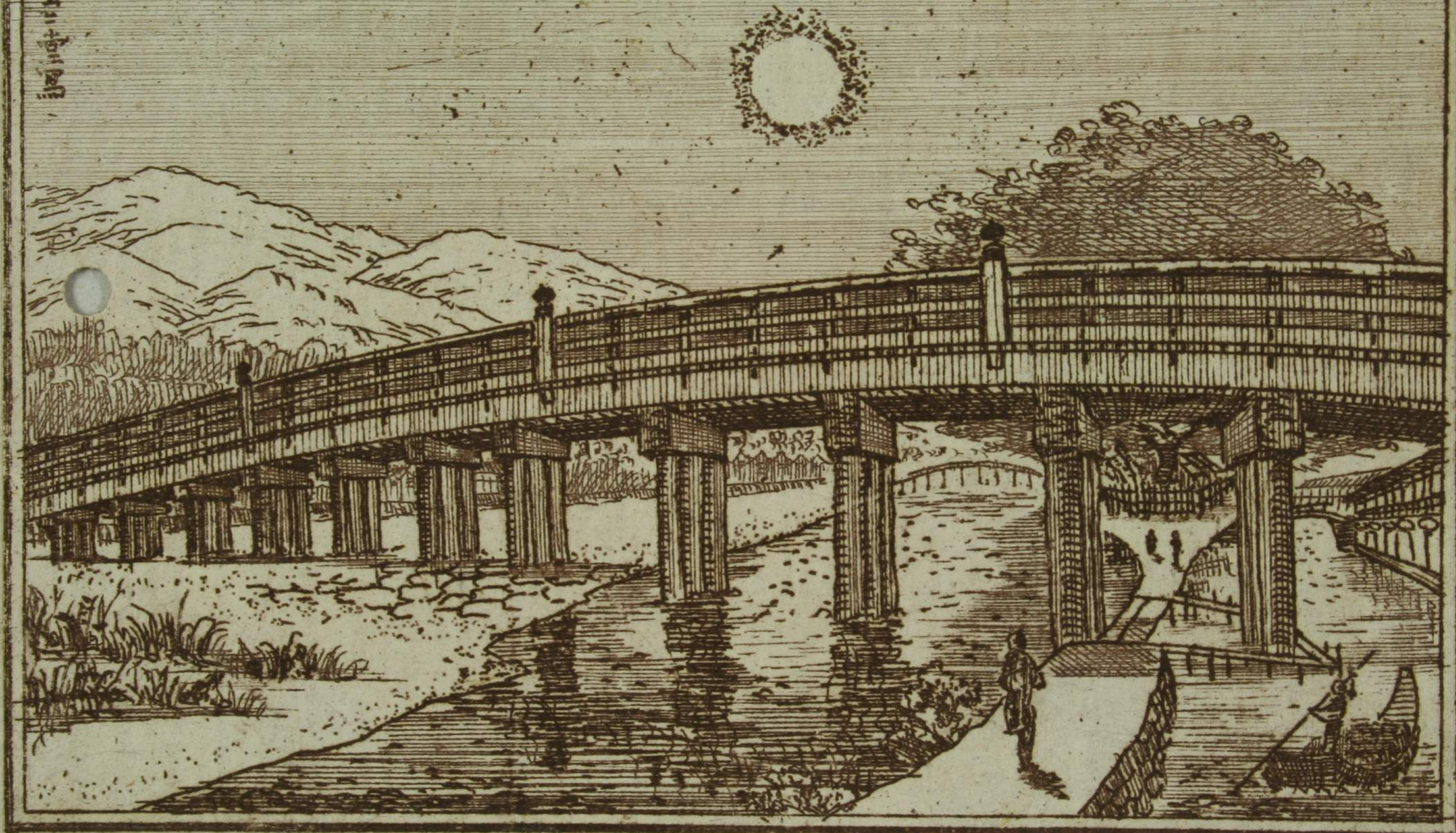






洛東籬塢月夜

籬塢月夜









八坂法觀寺

玄二堂  
昭

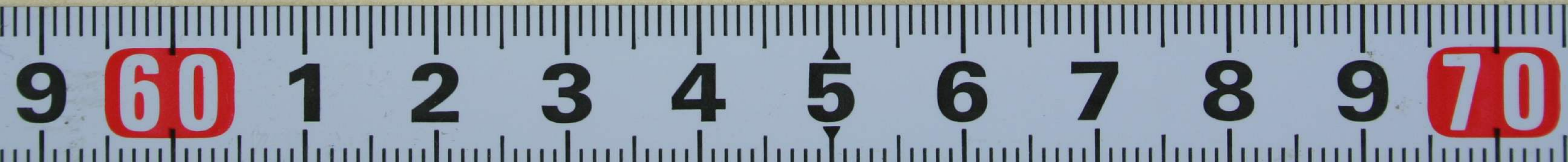






北野右近馬場

五二

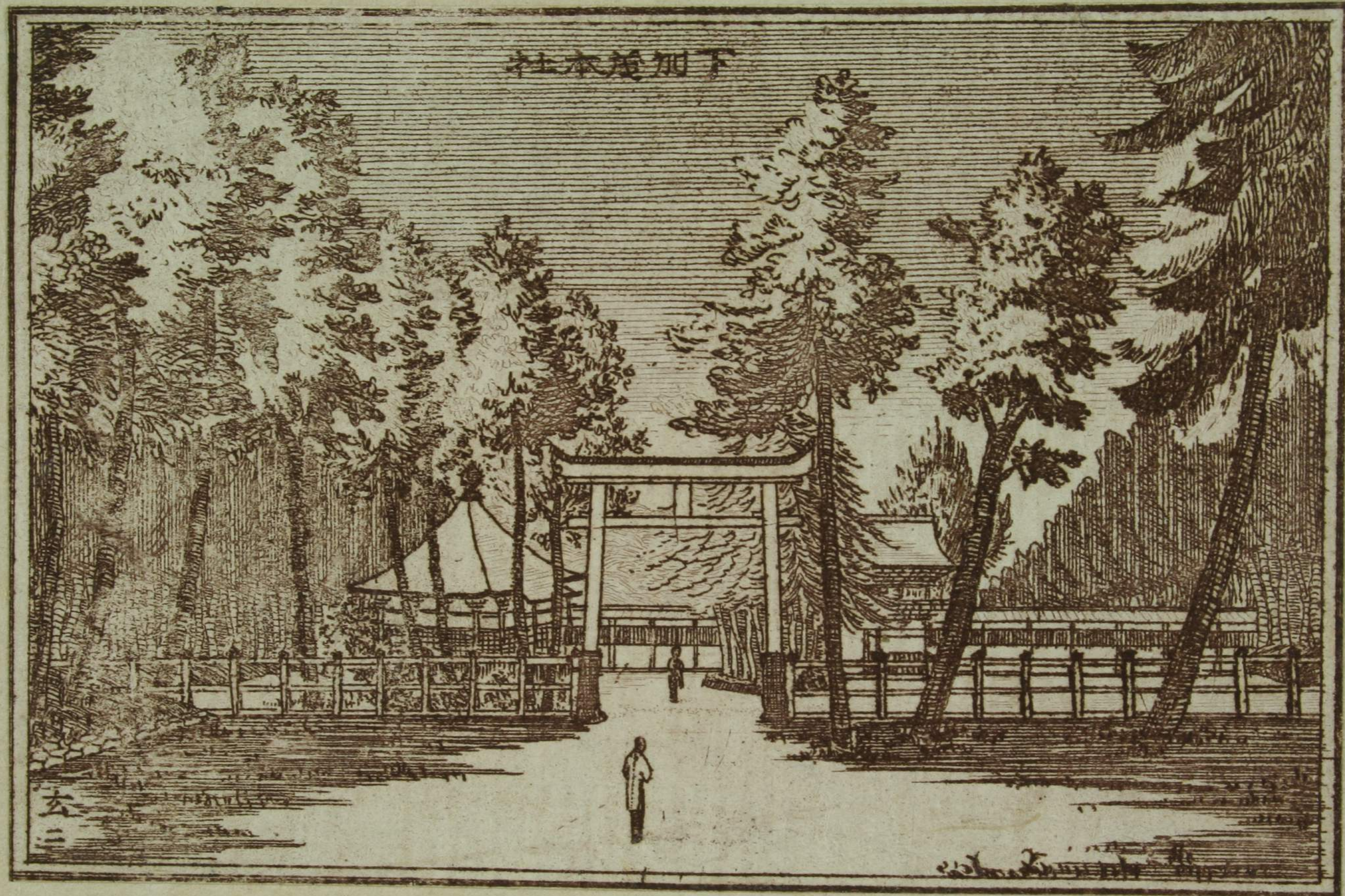




真如堂



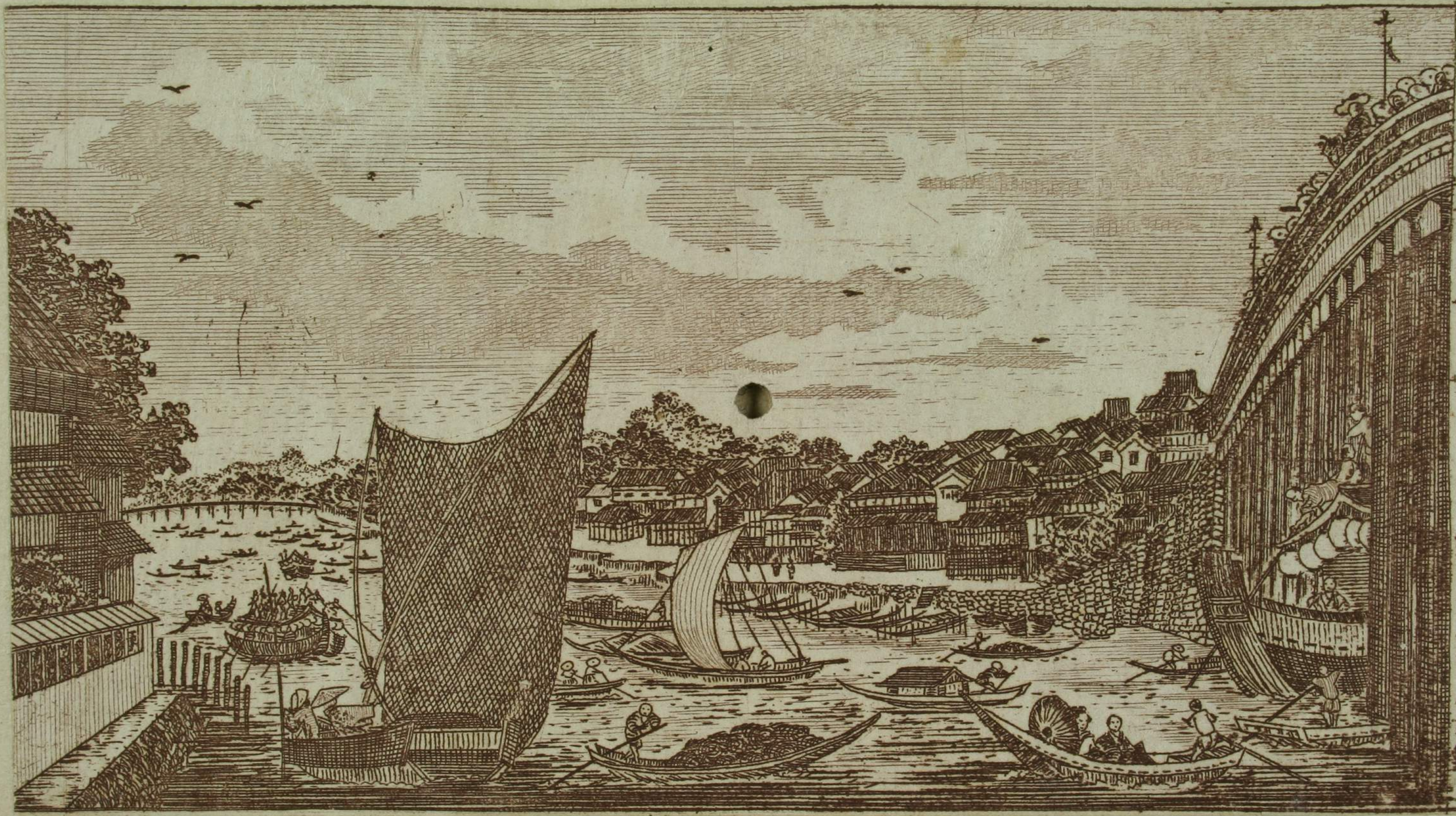






東都名勝兩園橋其之景

平安 堂玄堂筆刻





東都名勝飛鳥山眺望圖



平安 玄々堂模鑄





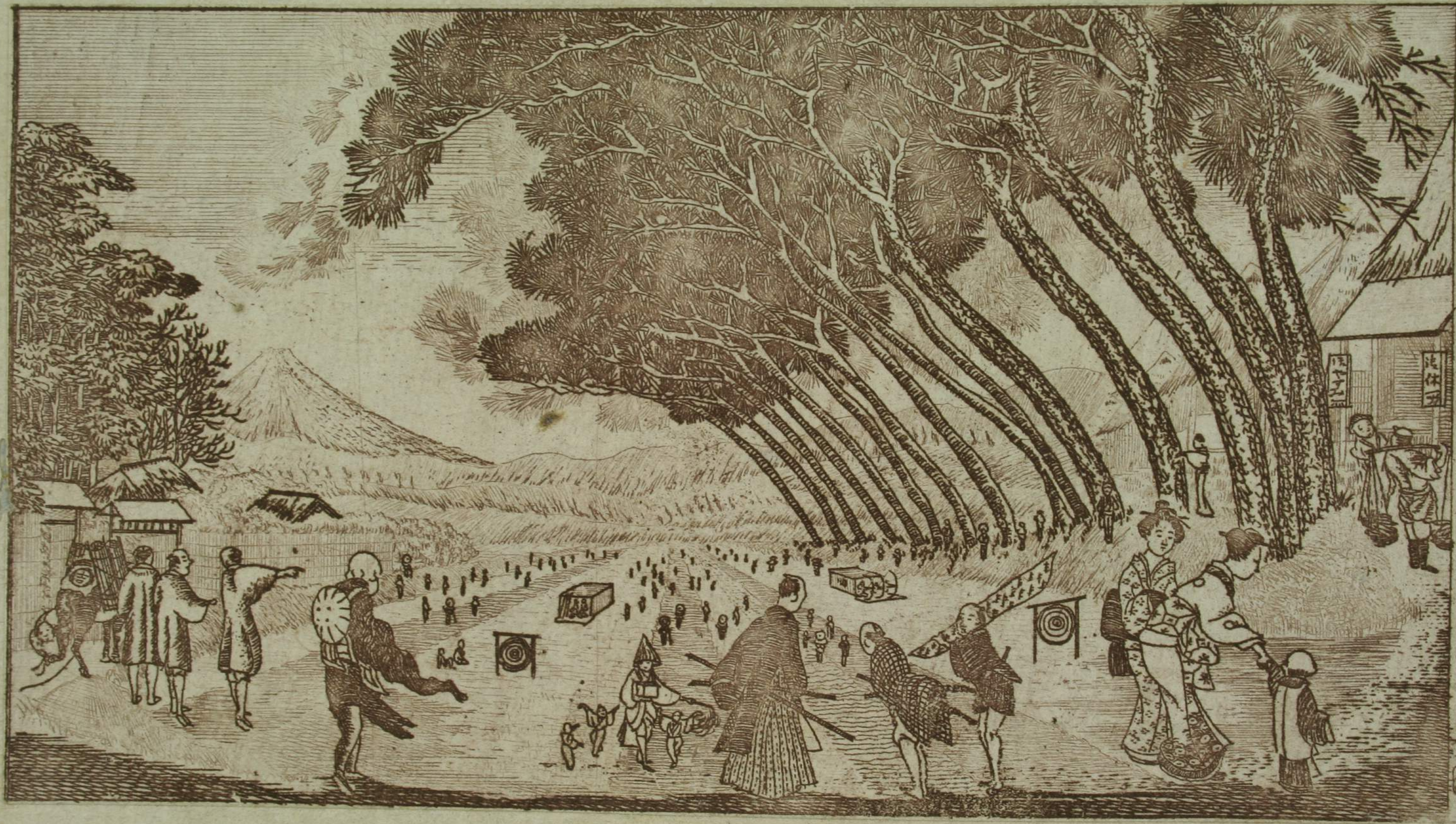
江戸吉原大門口之圖



平安 玄玄堂摹刻

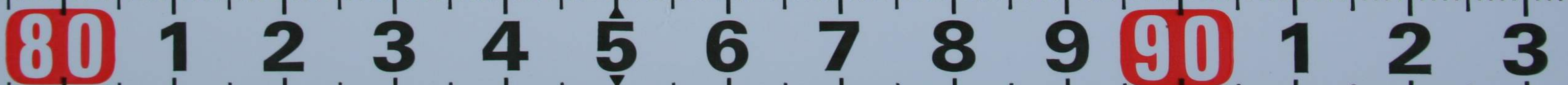






自高田千里原至榎棠郷之圖 平安

玄方堂摹鑿





東都名勝中洲夕涼之圖



平安 玄玄堂摹刻





湖空春之風景



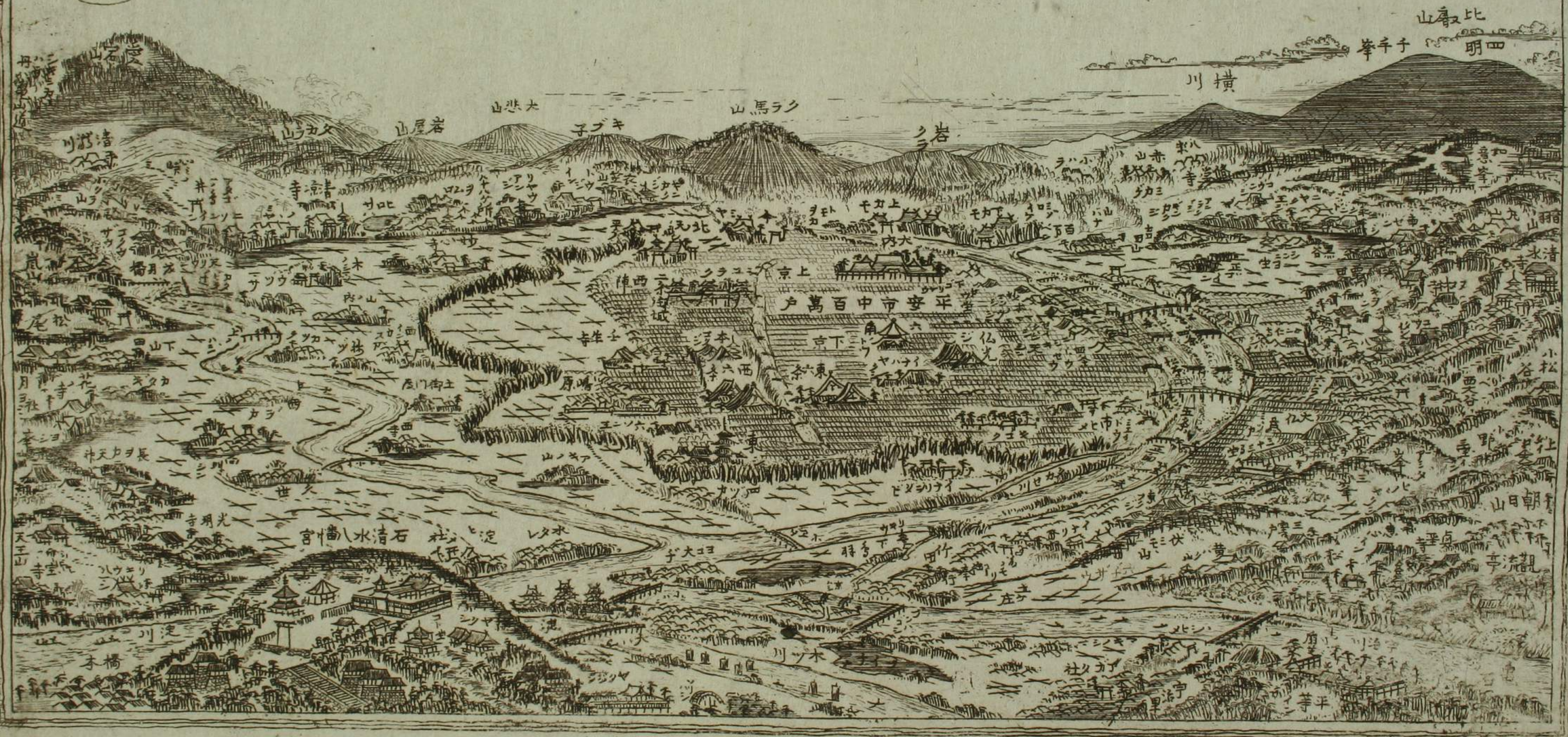
堂藏





Matruvia regis

皇都一覽圖





英勇雅客之像



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ 平家ヲシ 六十六回ノ想 追補使ト九世ニ



北條時頼 判後シテ 西明 八道 執權ト十年 三十七歳ニ卒ス



八幡太郎義家 頼義ノ 嫡子ナリ 幼名源太云 石清水八幡宮ノ神前ニ元服ス



源賴政 頼朝ノ 長子ナリ 後醍醐 天皇ノ 御代ニ 侍リ



曾我五郎 遠見 曾我五郎 遠見



武藏坊辨度 能野ノ 別名ニ 別名ニ 別名ニ



織田信長 信長公 信長公 信長公



新田義貞 新田 義貞 新田 義貞



源義經 平治 元年生 源義經 平治 元年生



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源義經 平治 元年生 源義經 平治 元年生



武田信玄 大膳 交時信 武田信玄 大膳 交時信



平清盛 清盛 拒武 天皇 平清盛 清盛 拒武 天皇



源賴光 賴朝ノ 長子ナリ 後醍醐 天皇ノ 御代ニ 侍リ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



源賴朝 清和天皇ヨリ 十代左馬頭 源義朝 三男ナリ



茶平武家並覽

御後見 一橋大納言様 次第不同御免

Table listing names, titles, and ranks of various figures, including sections for 尾張大納言様, 紀伊中納言様, 加賀中納言様, and 水戸中納言様. Includes names like 松平修理大夫, 細川越中守, etc.

皇國諸侯方數多上京二附諸人見易カラン古ク要トシテ 以上大御城主御同格金銀先指皮同長草執定御定府

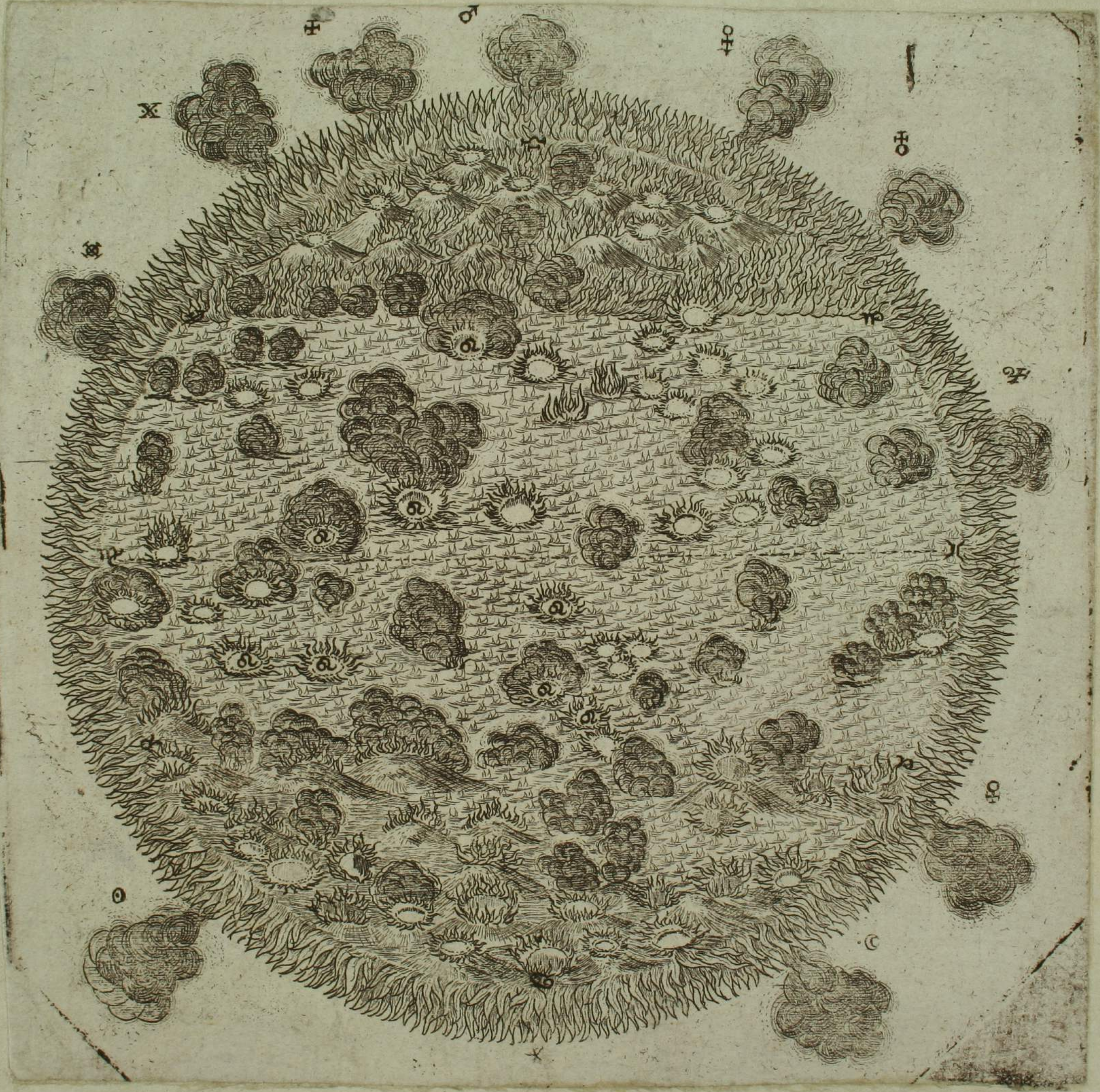
合印大廣同國主方大下大廊下大廣同六柳之間外様御大名四品 以上大御城主御同格金銀先指皮同長草執定御定府













日 月 寫 眞 圖

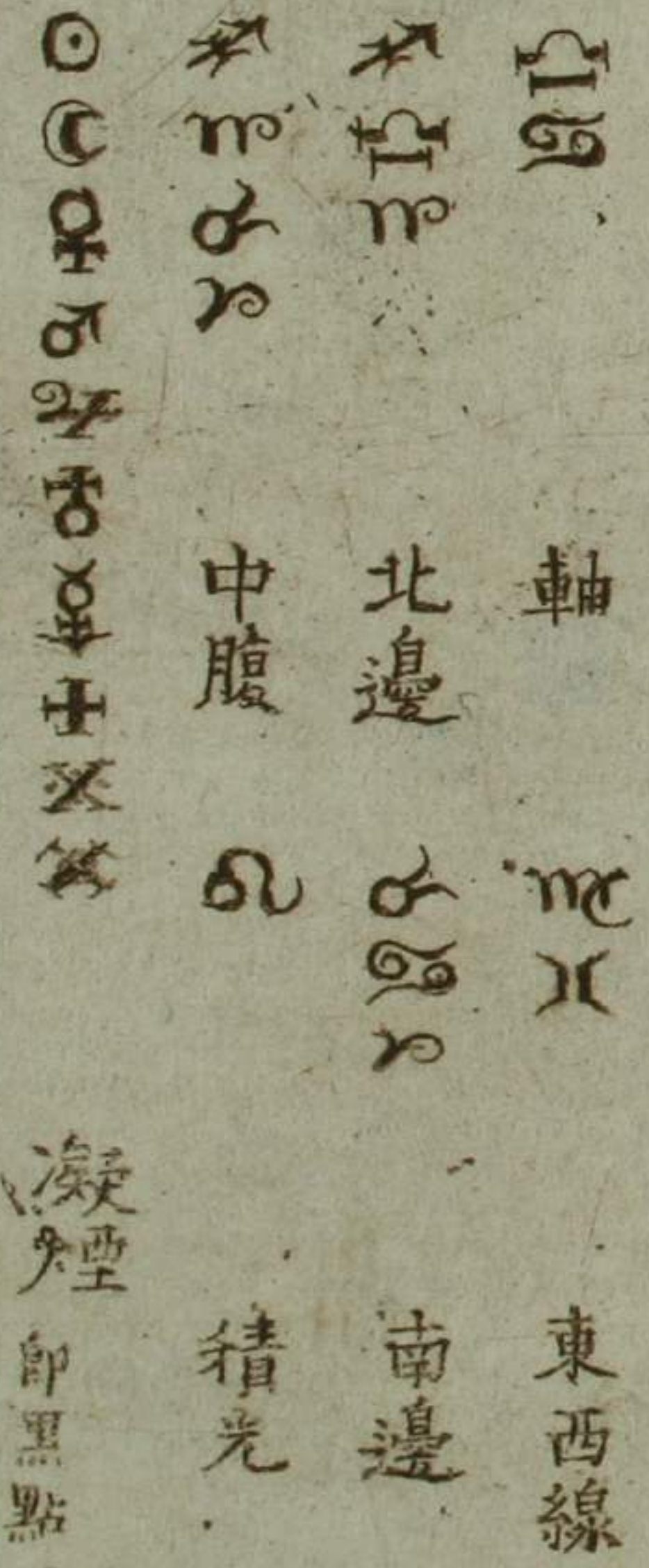
月輪大陰之真形

圖スル所ノ大陰ノ真形ハ和蘭書中ニ載ル所ノ者ヲ以テ模寫ス西洋ノ器テレスコーピユヒト望遠鏡ヲ以テ觀ニ月中ノ紋其全形地球ノ圖ノ如シ暗黒ナルハ山嶽ニメ銀色ノ處ハ海河ナリ實ニ疑ヒナキ大世叟ナリ

日輪大陽之真形

圖スル所ノ大陽ノ真形ハ和蘭書ニ載ル所ノ者ヲ以テ摸刻ス西洋ノ人圖スル所ノ形ノ如ハ甚ダ精製ナル望遠鏡ニ非ザレバ真形ヲ得ズ日輪吾カ天ノ中心ニアリテ傾キノ樞軸アリ自旋ヲナス二十五日六時ニメ一旋轉スルナリ日輪中ニ紋アル依テ是ヲ測量スト

大陽圖譜





大日本略全圖









# 弘化三年



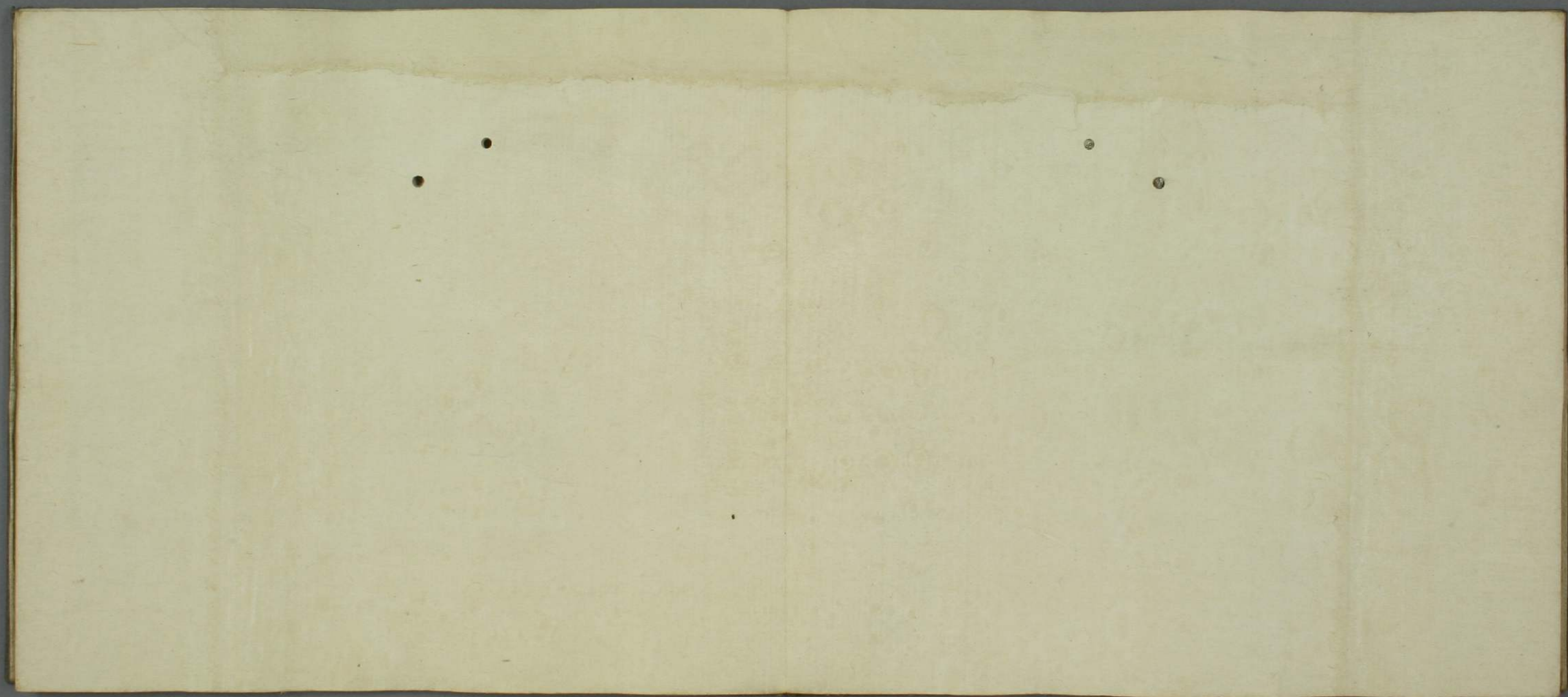
奥州盛岡ヨリ七十里北  
三戸八戸ナドニニヤタリ山  
土民通用ノ田山ゴヨミ  
ナライ小兒ノ目ヲ悦ス



八 七 六 五 四 三 二 一  
 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六  
 社日 東 春分 夏至 秋分 冬至  
 種マキ 田カリ 多至 彼岸 中 彼岸 中









以下全て

白紙